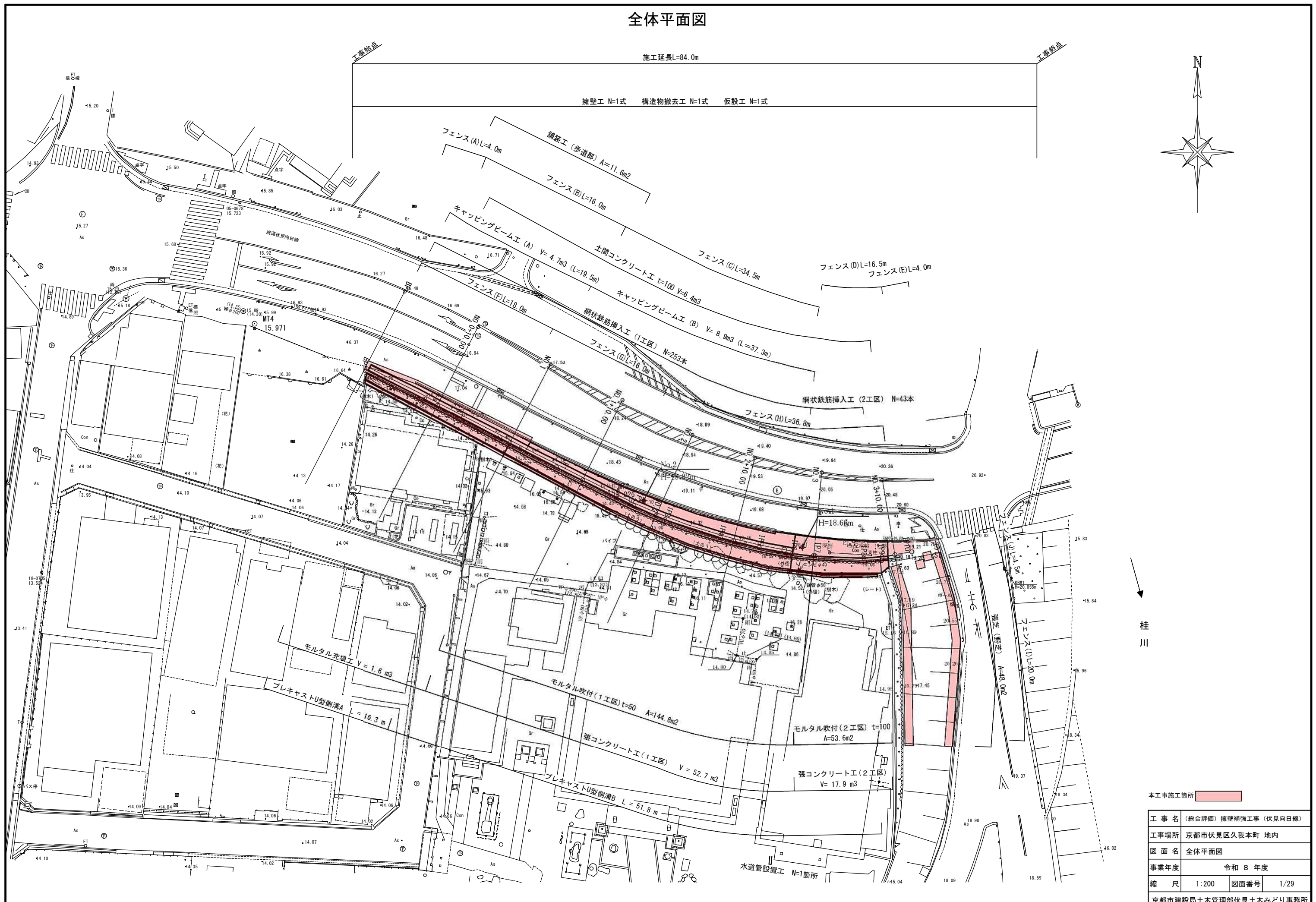
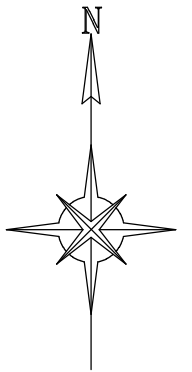


全体平面図

施工延長L=84.0m

擁壁工 N=1式 構造物撤去工 N=1式 仮設工 N=1式



本工区施工箇所			
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	全体平面図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:200	図面番号	1/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

縦断面図

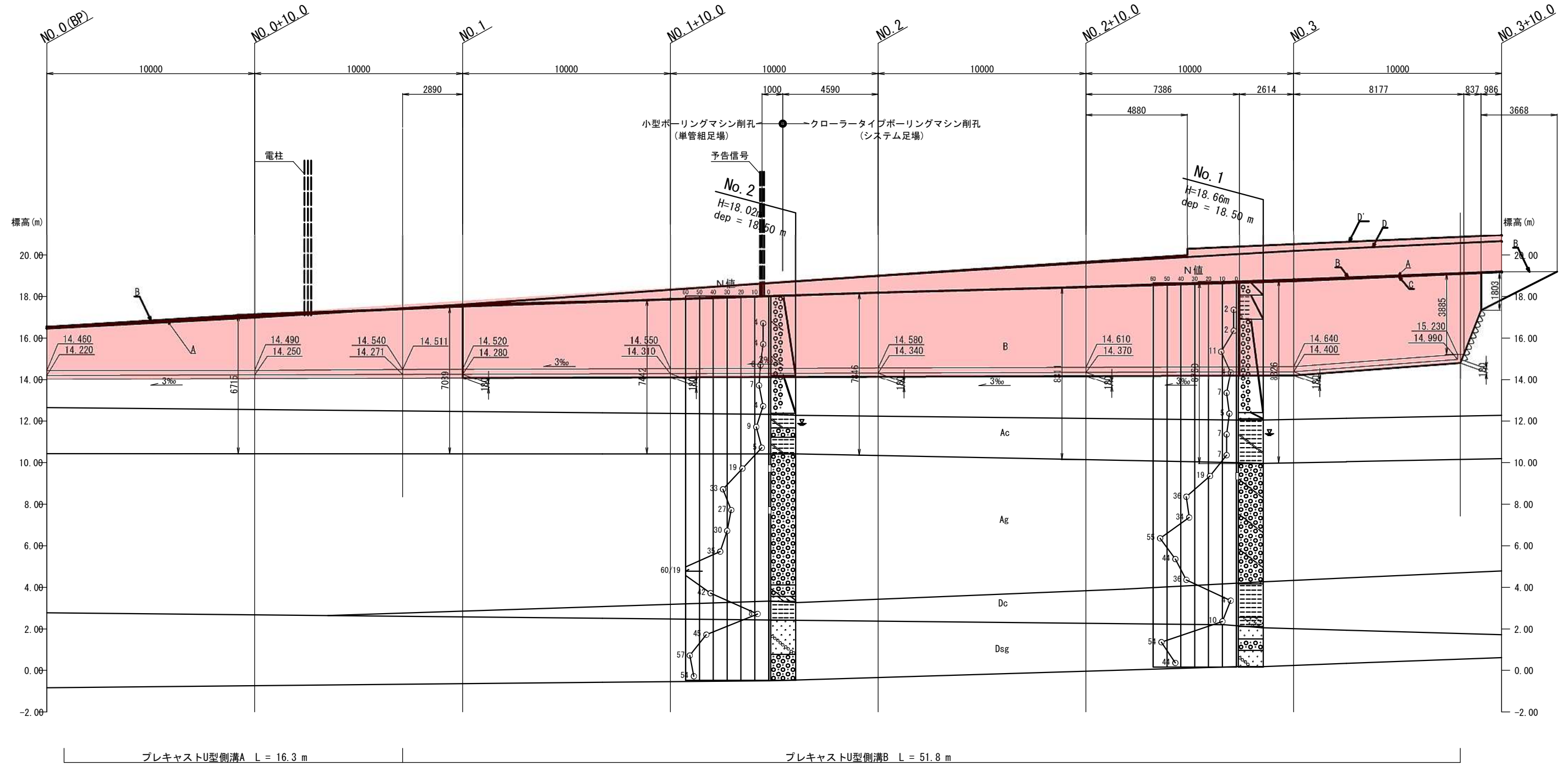
網状鉄筋挿入工 (1工区) N=253本

網状鉄筋挿入工 (2工区) N=43本

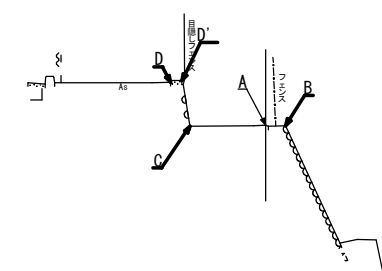
モルタル充填工 V=1.6m³

張コンクリート工 (1工区) V=52.7m³

張コンクリート工 (2工区) V=17.9m³



NO. 2+10.000
GH=18.47

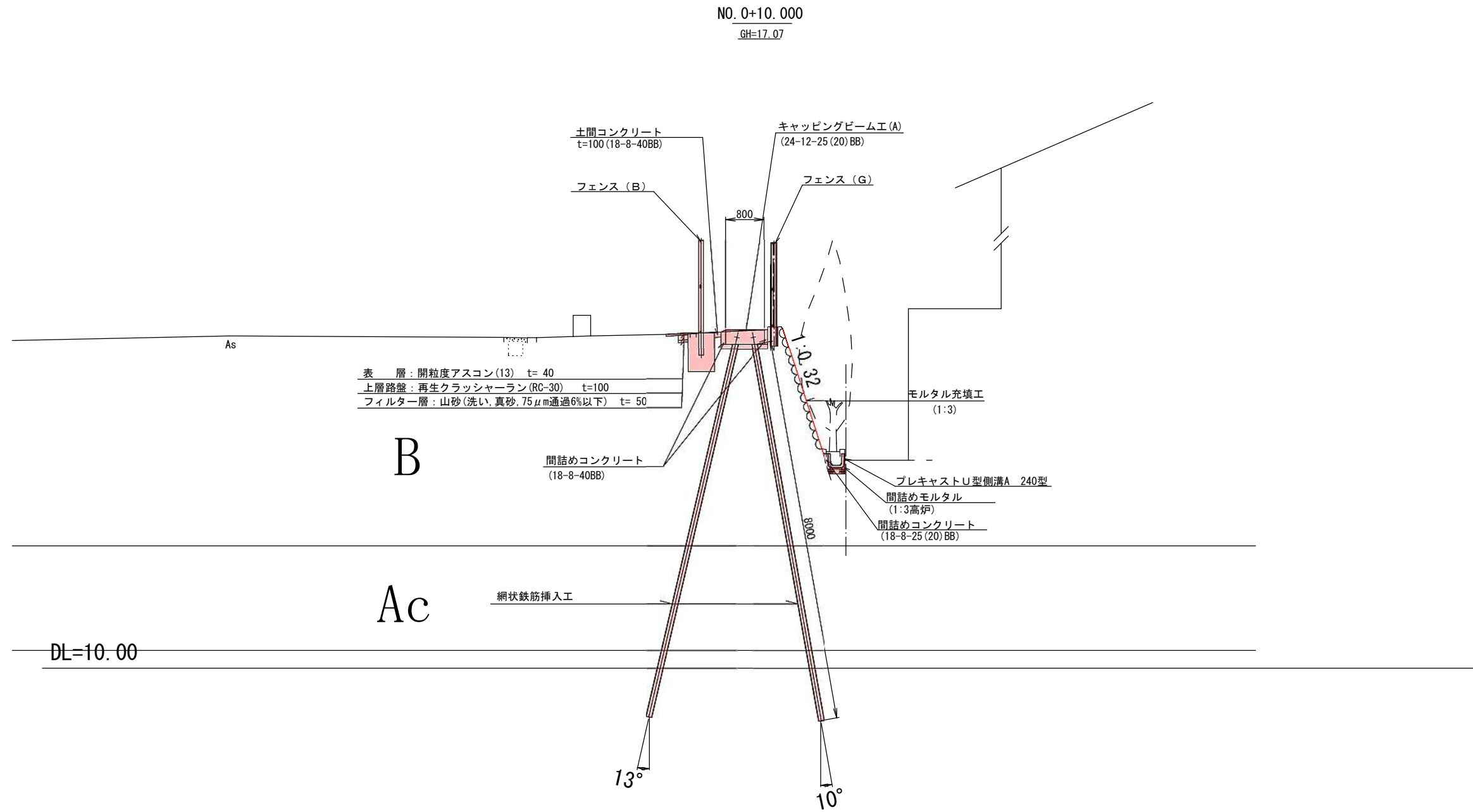


本工区施工箇所

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	縦断面図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:100	図面番号	2/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

※ 縦断方向距離は、測量中心線に投影した延長を示している。

標準横断面図 (1)



凡 例

地質時代	地層名・土質名		記号色
新 生 代 第 四 紀	完 新 世	盛 土	礫質土主体 B
		冲積低地 堆積物	粘性土層 Ac 砂 礫層 Ag
	更 新 世	段 丘 堆積物	粘性土層 Dc 礫質土層 Dsg

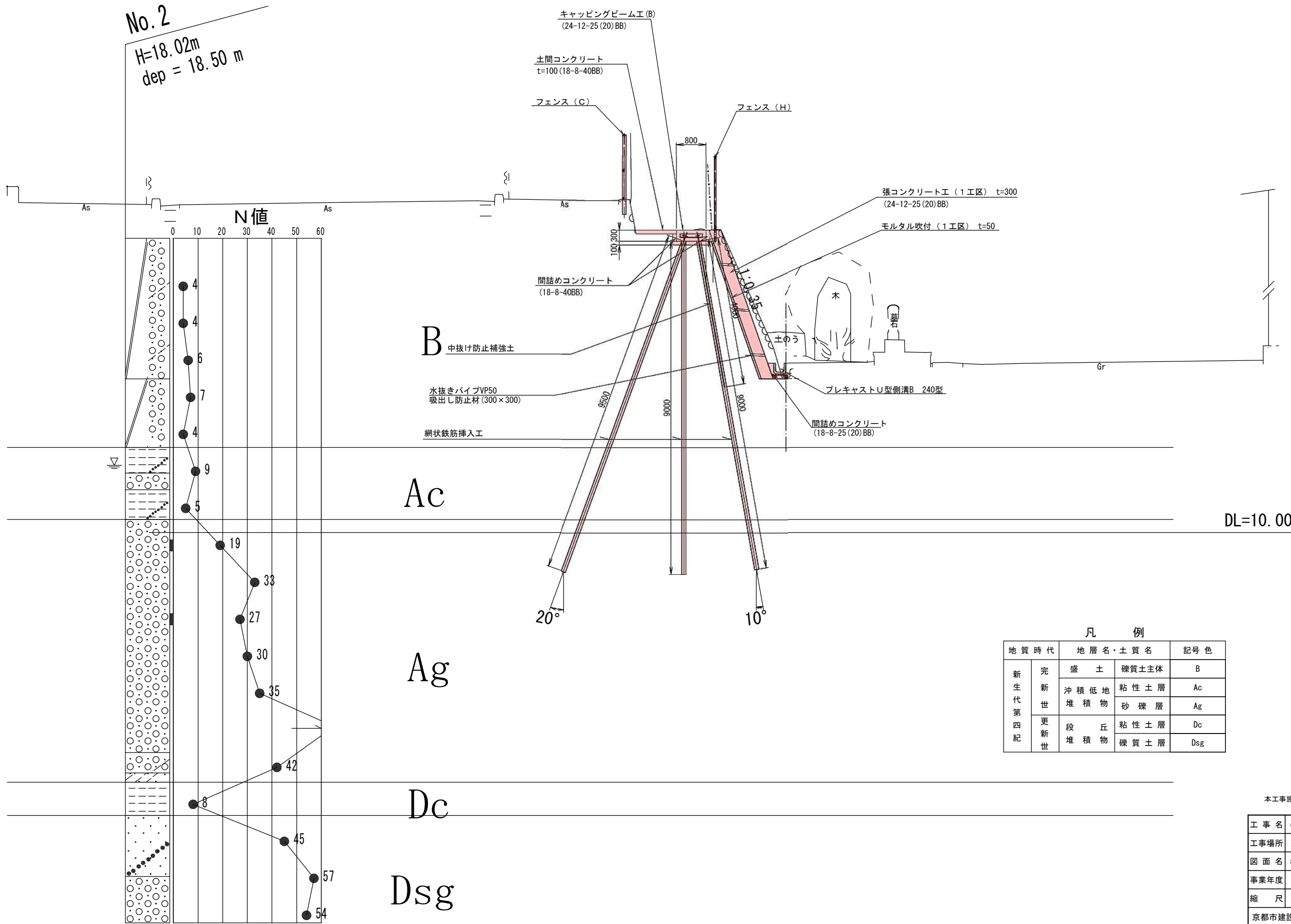
本工事施工箇所

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	標準横断面図 (1)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:50	図面番号	3/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

標準横断面図 (2)

NO. 2
GH=18.19

No. 2
H=18.02m
dep = 18.50 m



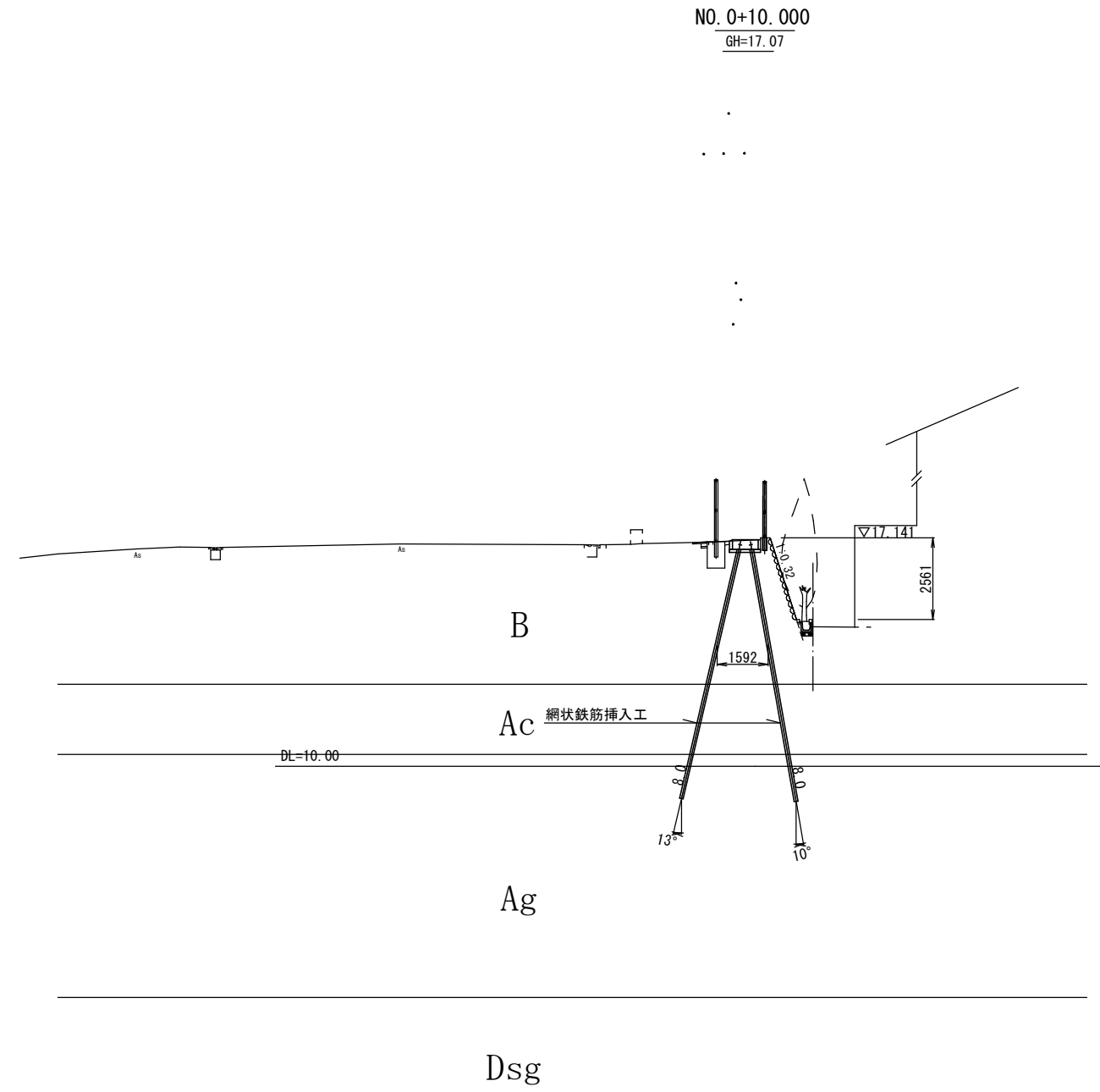
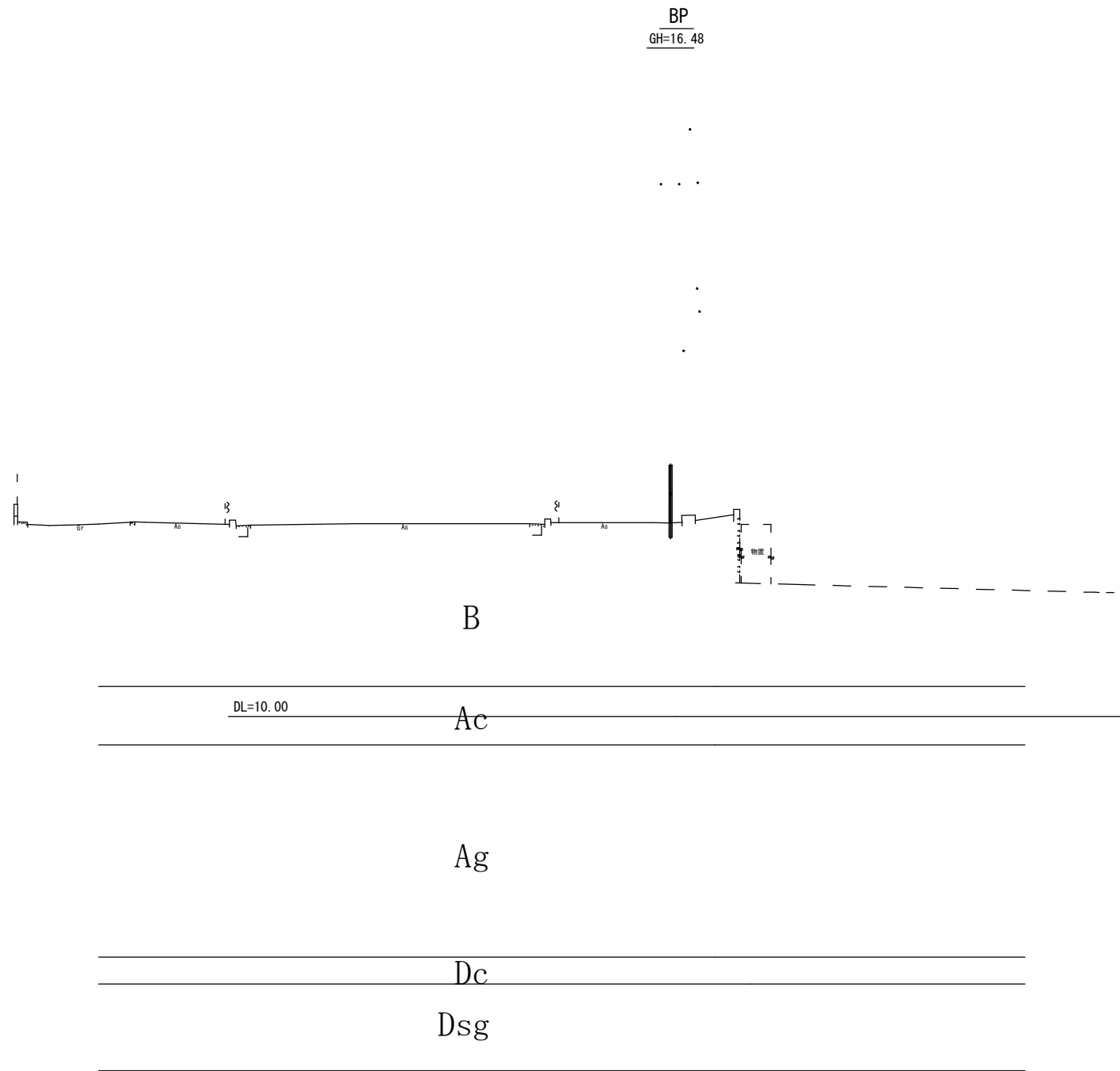
凡 例

地質時代	地層名・土質名		記号色
新生代 第四紀	完 新 世	盛 土	礫質土主体 B
		沖積低地 堆 積 物	粘性土層 Ac 砂 礫 層 Ag
	更 新 世	段 丘	粘性土層 Dc
		堆 積 物	礫質土層 Dsg

本工事施工箇所

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	標準横断面図 (2)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:50	図面番号	4/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

横断面図(1)



凡 例

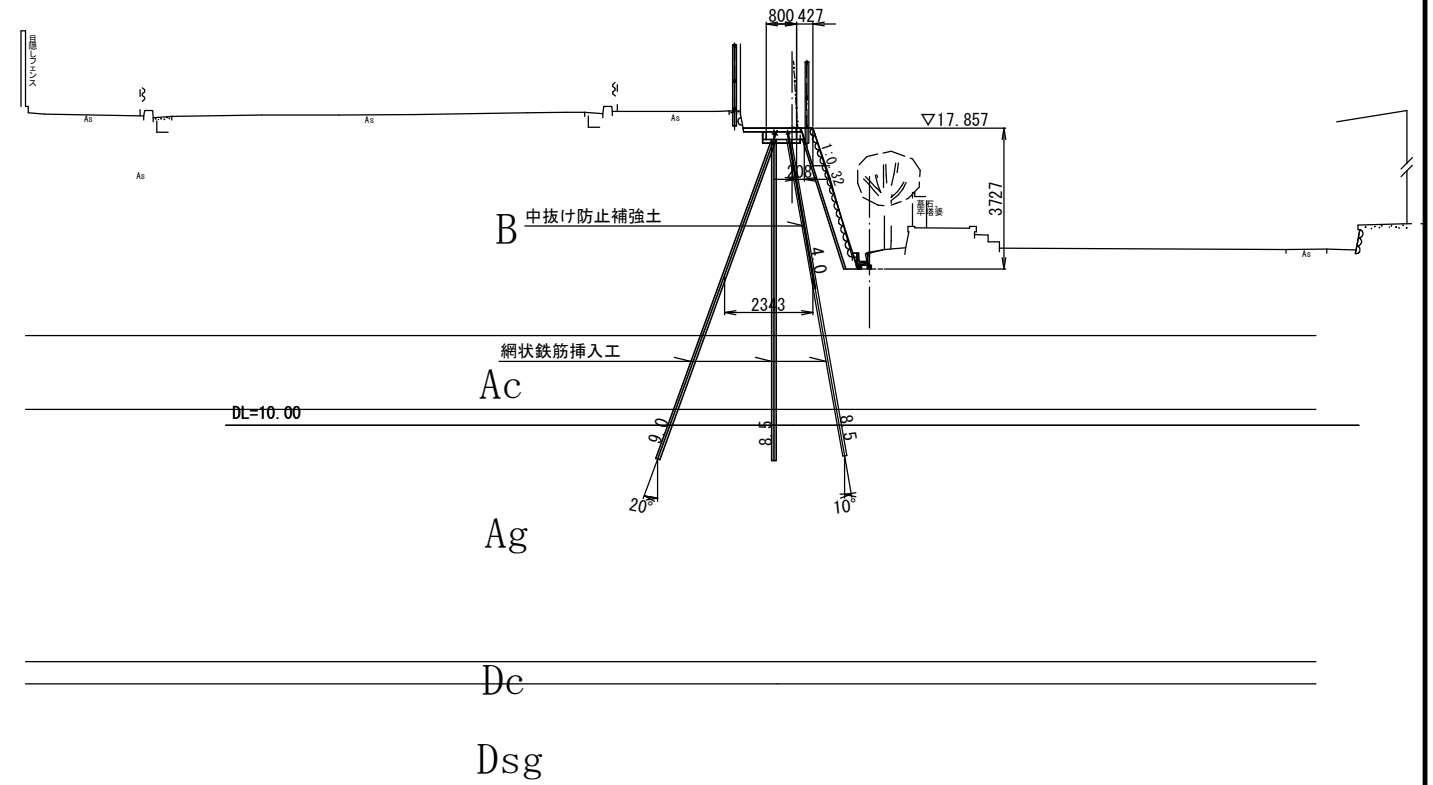
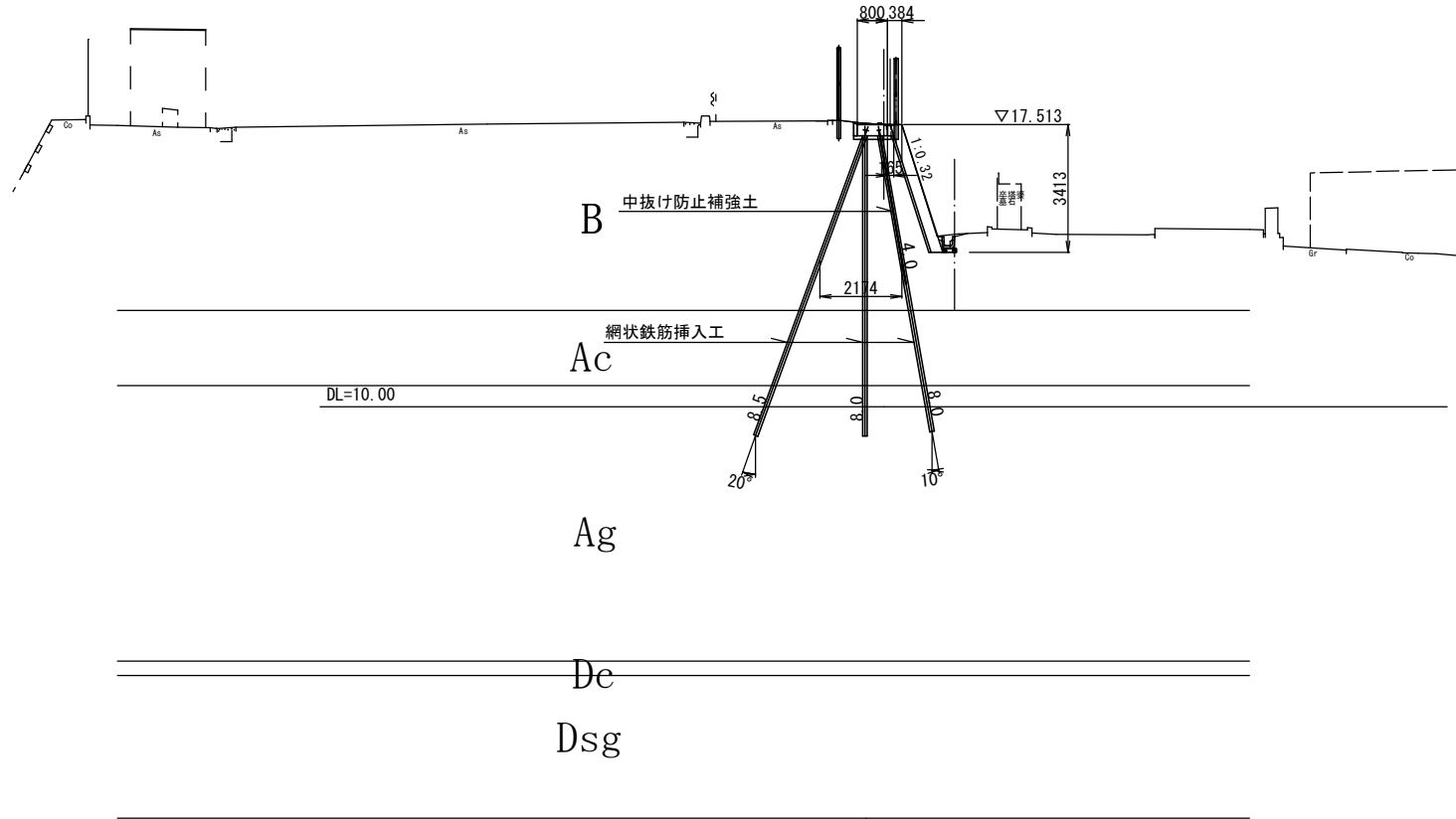
地質時代	地層名・土質名		記号色	
新生代 第四紀	完	盛 土	礫質土主体	B
	新	沖積低地 堆積物	粘性土層	Ac
			砂礫層	Ag
	更 新世	段 丘 堆積物	粘性土層	Dc
礫質土層			Dsg	

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	横断面図 (1)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:100	図面番号	6/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

横断面図(2)

NO. 1
GH=17.52

NO. 1+10.000
GH=17.88



凡 例

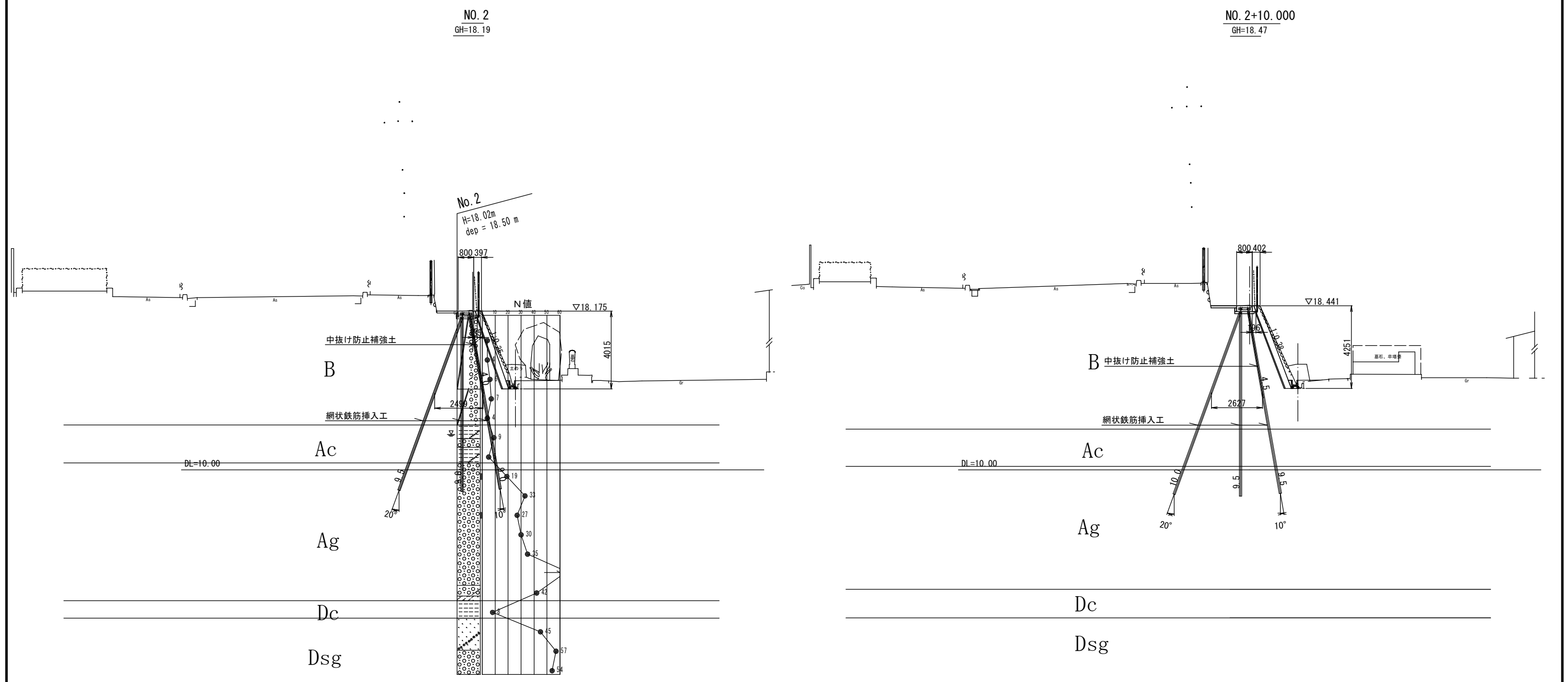
地質時代	地層名・土質名		記号色
新 生 代 第 四 紀	完 新 世	盛 土	礫質土主体 B
	沖 積 低 地 堆 積 物	粘 性 土 層	Ac
		砂 礫 層	Ag
	更 新 世	段 丘 堆 積 物	粘 性 土 層 Dc 礫 質 土 層 Dsg

工 事 名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図 面 名	横断面図 (2)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:100	図面番号	7/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

横断面図(3)

NO. 2
GH=18.19

NO. 2+10.000
GH=18.47

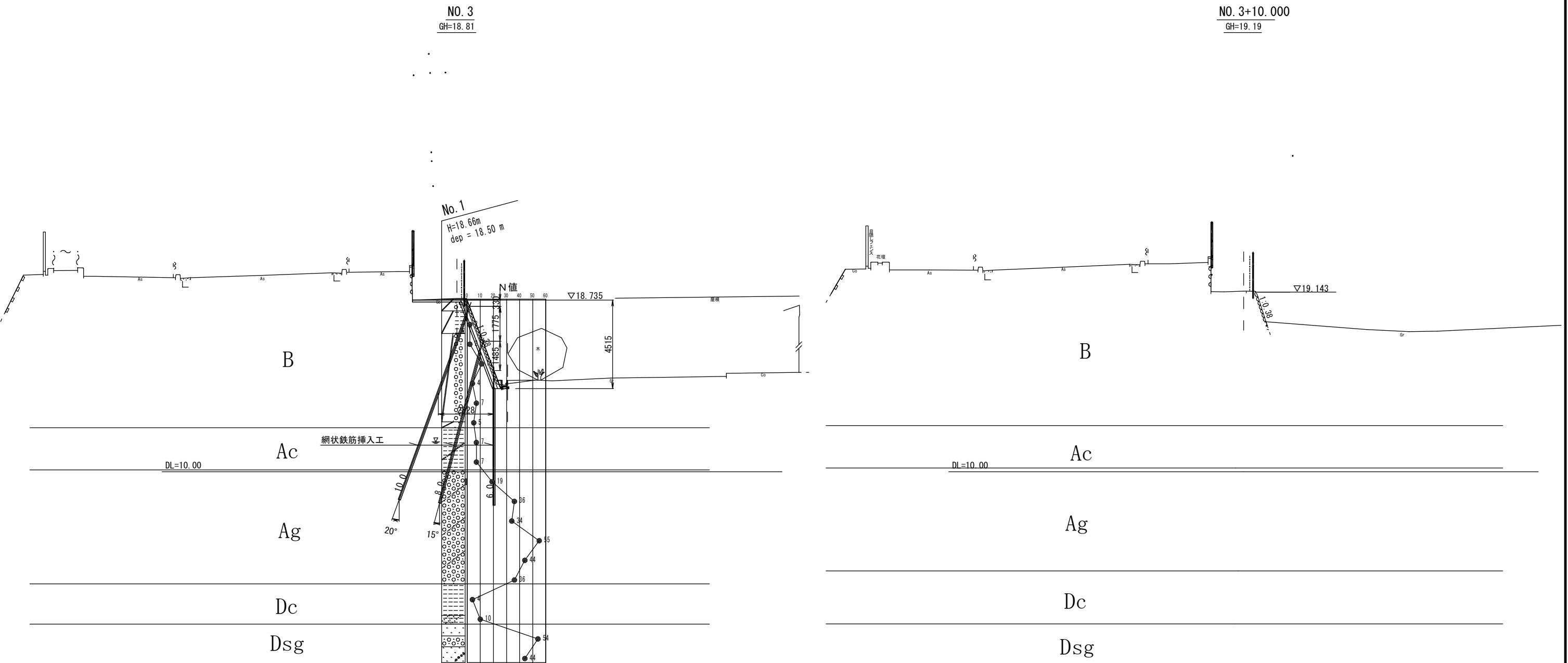


凡 例

地質時代		地層名・土質名		記号色
新 生 代 第 四 紀	完 新 世	盛 土	礫質土主体	B
	沖 積 低 地 堆 積 物	粘 性 土 層		Ac
		砂 礫 層		Ag
	更 新 世	段 丘 堆 積 物	粘 性 土 層	Dc
		礫 質 土 層	Dsg	

工 事 名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図 面 名	横断面図 (3)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:100	図面番号	8/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

横断面図(4)



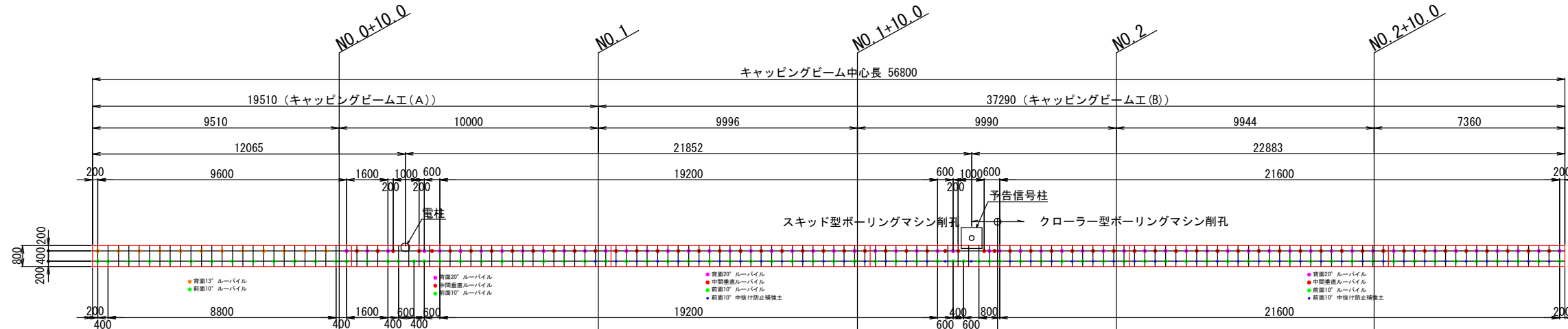
凡 例

地質時代	地層名・土質名		記号色
新 生 代 第 四 紀	完 新 世	盛 土	礫質土主体 B
	沖 積 低 地 堆 積 物	粘 性 土 層	Ac
		砂 礫 層	Ag
	更 新 世	段 丘 堆 積 物	粘 性 土 層 Dc 礫 質 土 層 Dsg

工 事 名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図 面 名	横断面図(4)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	1:100	図面番号	9/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

網状鉄筋挿入工配置図(1工区)

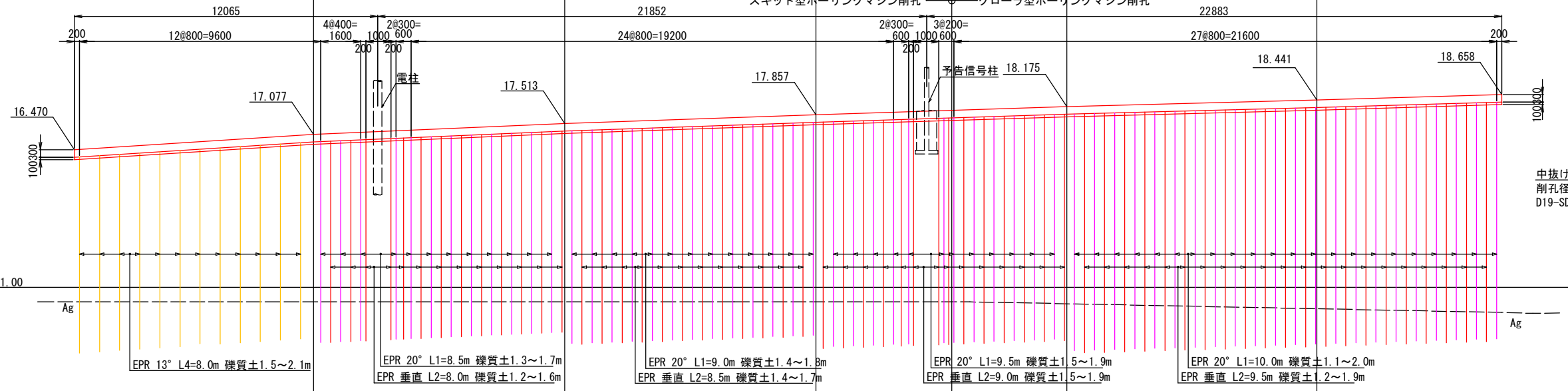
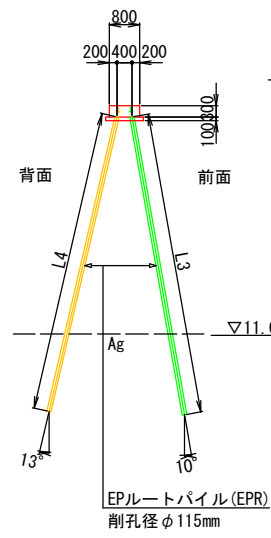
平面配置図



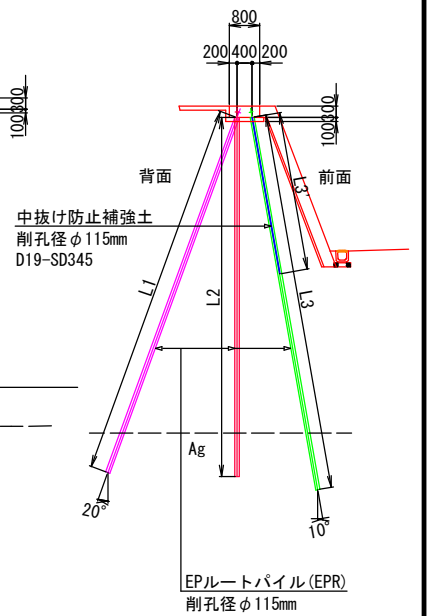
背面展開図

スキッド型ボーリングマシン削孔 クローラ型ボーリングマシン削孔

NO. 0+10.0

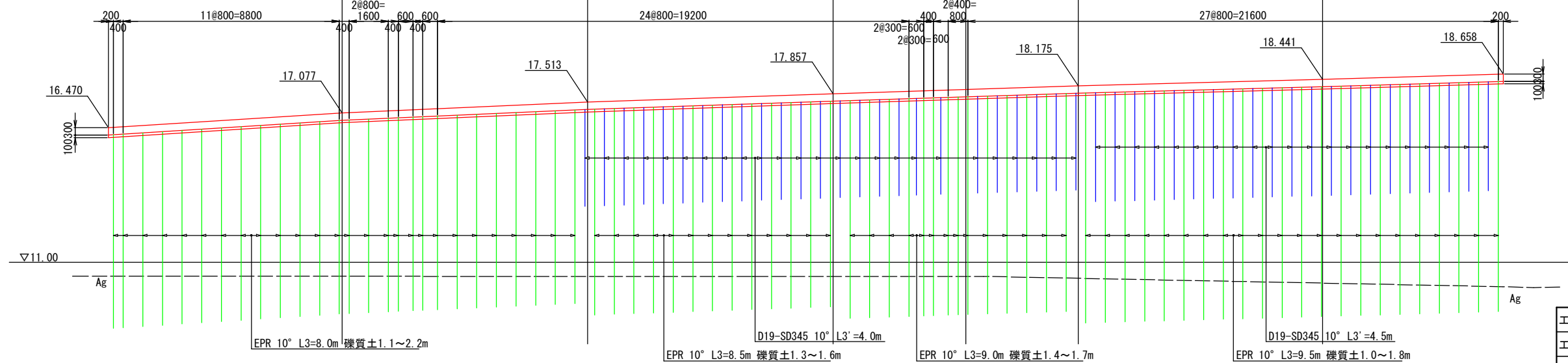


NO. 2+10



前面展開図

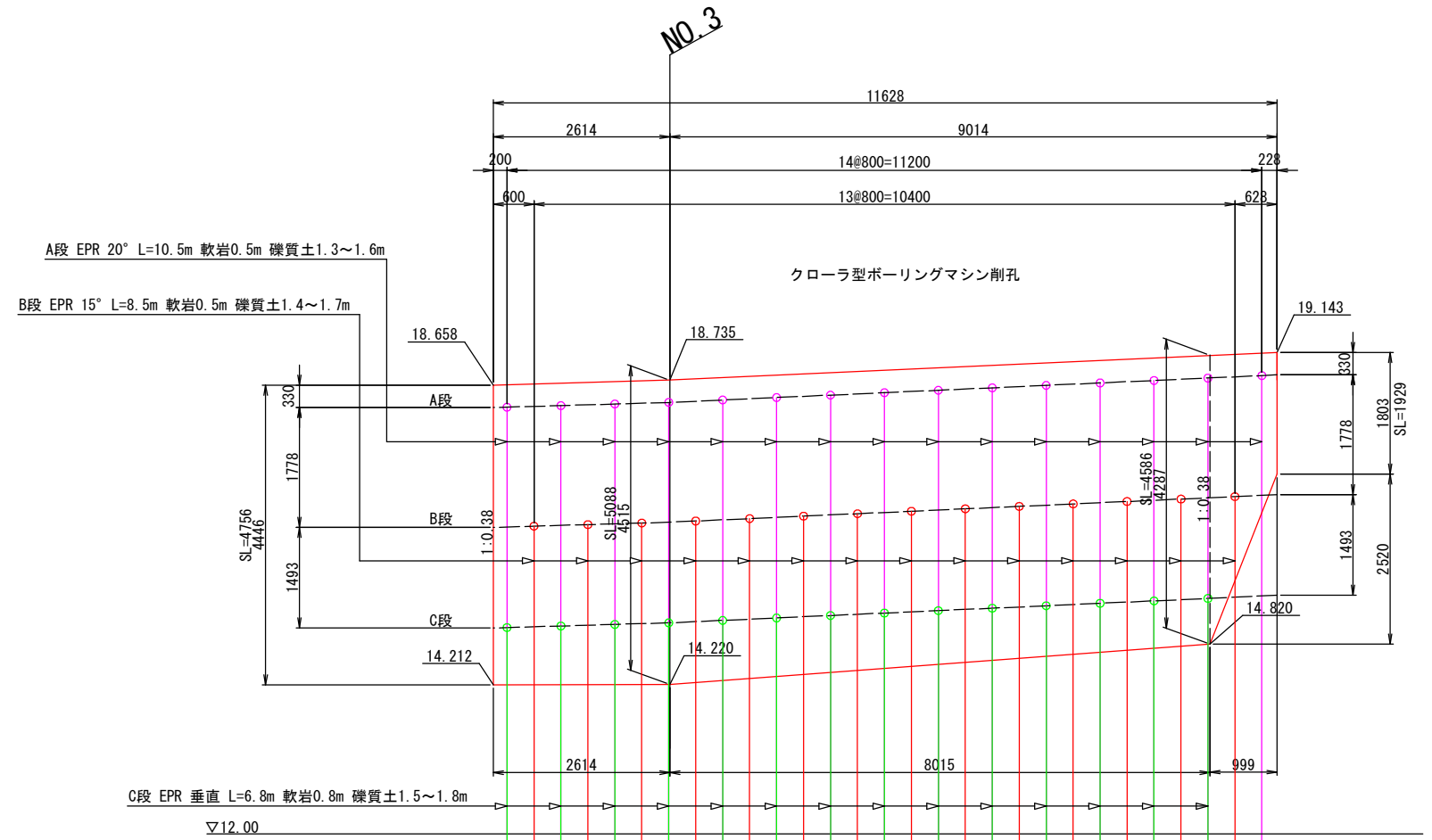
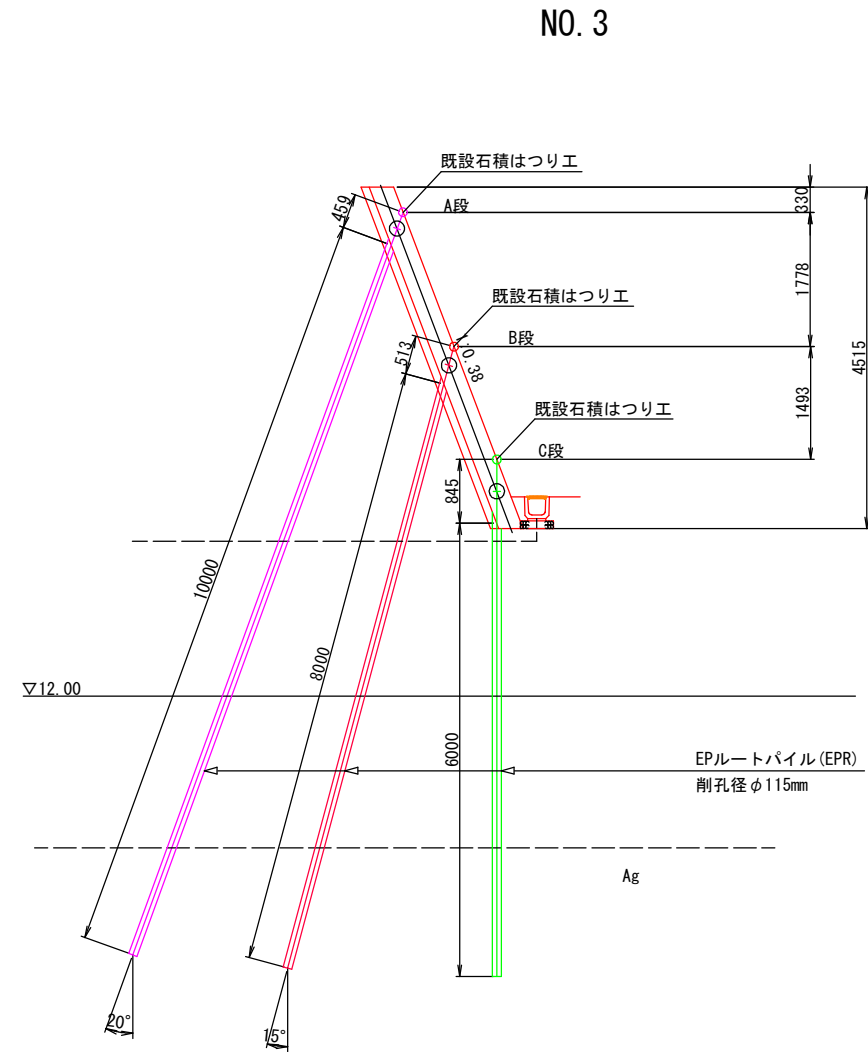
スキッド型ボーリングマシン削孔 クローラ型ボーリングマシン削孔



—注記—
当該工区は、起点側はスキッド型ボーリングマシンによる削孔、
終点側はクローラ型ボーリングマシンによる削孔を想定している。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	網状鉄筋挿入工配置図(1工区)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:100	図面番号	10/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

網状鉄筋挿入工配置図(2工区)



— 注記 —

EPルートパイル用の削孔部の既設石積み面は、予め削孔機のビット当たりの為の平滑化をすること。

当該工区は、既設石積み面よりクローラ型ボーリングマシンによる削孔を想定している。

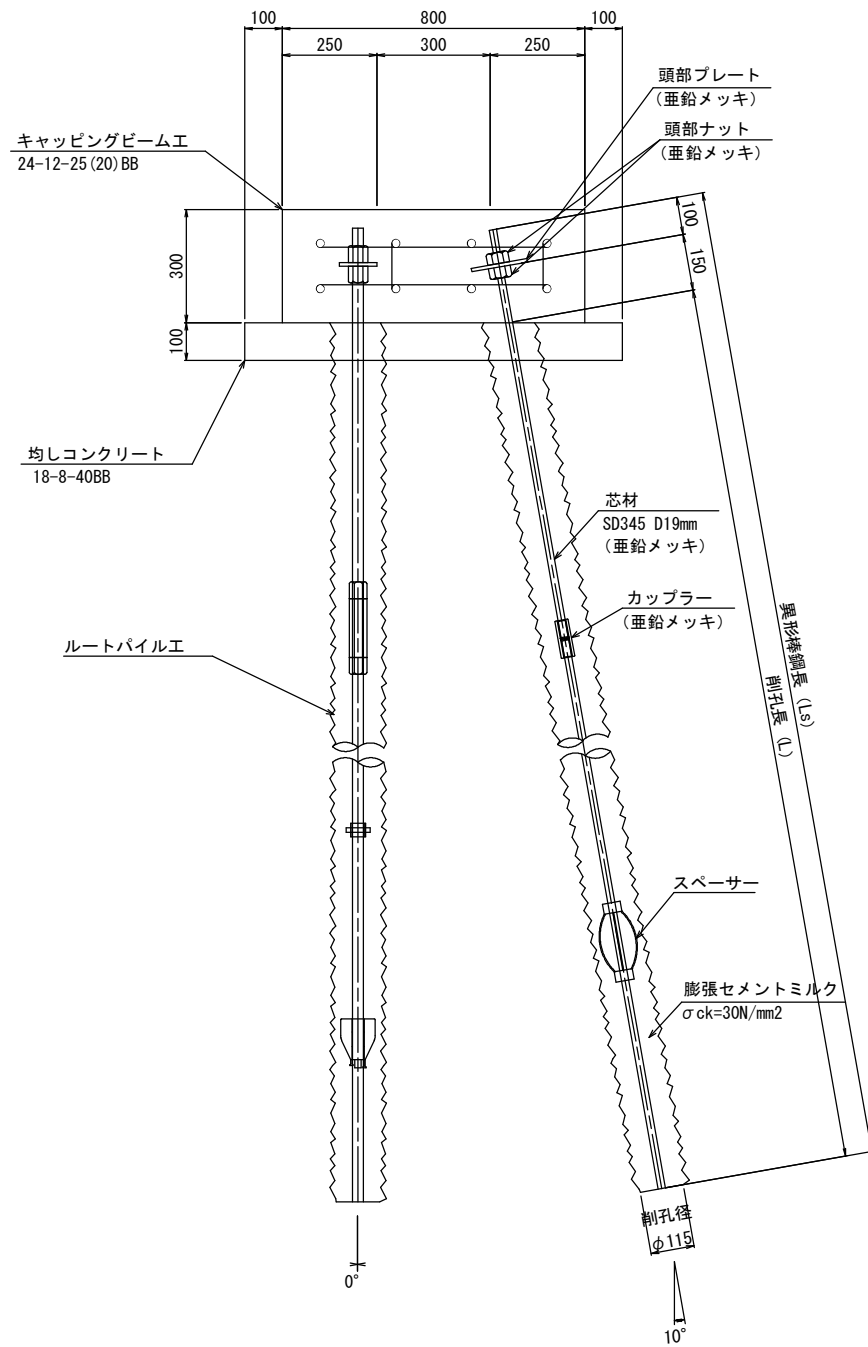
なお、既設石積みの削孔は軟岩で計上している。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	網状鉄筋挿入工配置図 (2工区)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:50	図面番号	11/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

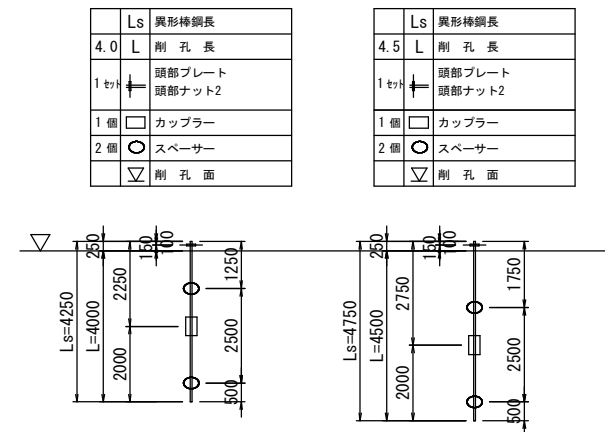
網状鉄筋挿入工詳細図(2)

1工区中抜け防止補強土

取付詳細図 S=1:10

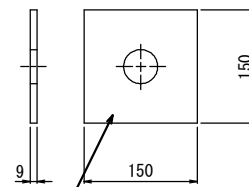


芯材組立図 S=1:100



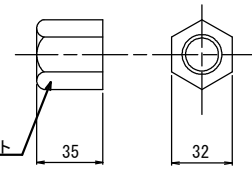
部品詳細図 (D19mm用)

頭部プレート S=1:5 (亜鉛メッキ)



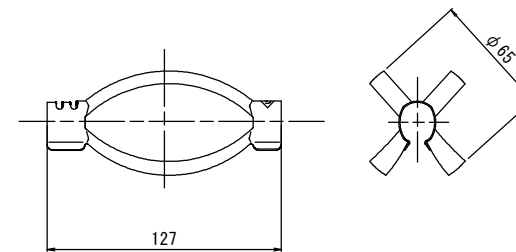
ルートパイルプレート
JIS G 3101 SS400
(溶融亜鉛メッキ: HDZT77 (HDZ55))

頭部ナット S=1:2 (亜鉛メッキ)

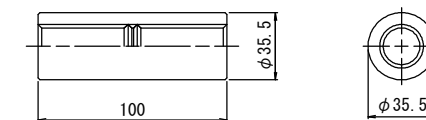


ルートパイルナット
JIS G 4051 S45C
(溶融亜鉛メッキ: HDZT49 (HDZ35))

スペーサー S=1:2

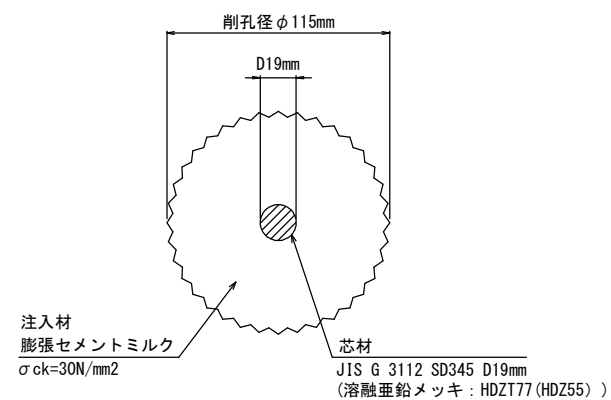


カップラー S=1:2 (亜鉛メッキ)



(溶融亜鉛メッキ: HDZT49 (HDZ35))

補強土断面図 S=1:2



工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	網状鉄筋挿入工詳細図(2)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図示	図面番号	13/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

キャッピングビーム工詳細図

断面図 S=1:20

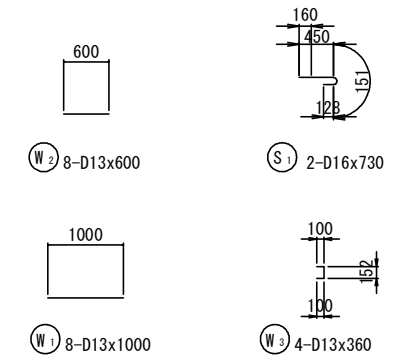
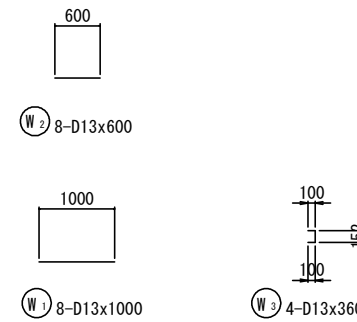
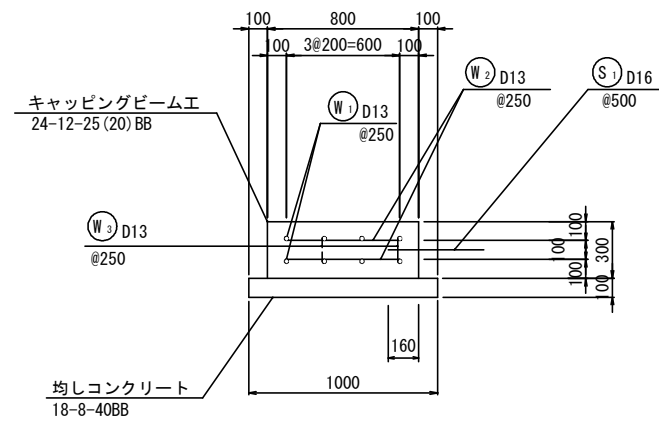
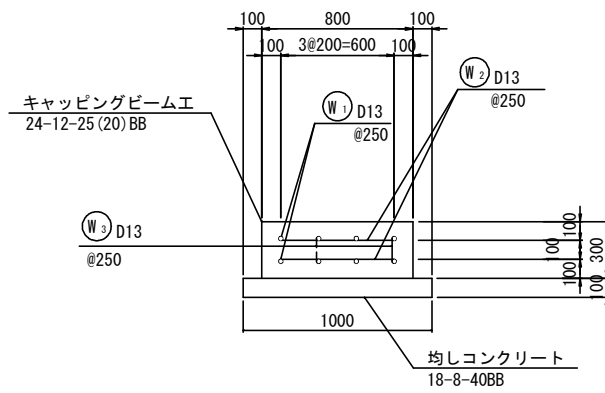
鉄筋加工図 S=1:50

キャッピングビーム工 (A)

キャッピングビーム工 (B)

キャッピングビーム工 (A)

キャッピングビーム工 (B)



※キャッピングビーム工には瀝青繊維質目地板 (t=20mm) を10m以内ごとに設置すること。

鉄筋表 (SD345) (L=1.0m当り)

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要	
W1	D13	1000	8	0.995	0.995	8.0	—	
W2	D13	600	8	0.995	0.597	4.8	—	
W3	D13	360	4	0.995	0.358	1.4]	
合計						14.2	kg	
鉄筋径別集計								
				D13	14.2	kg		
合計							14.2	kg

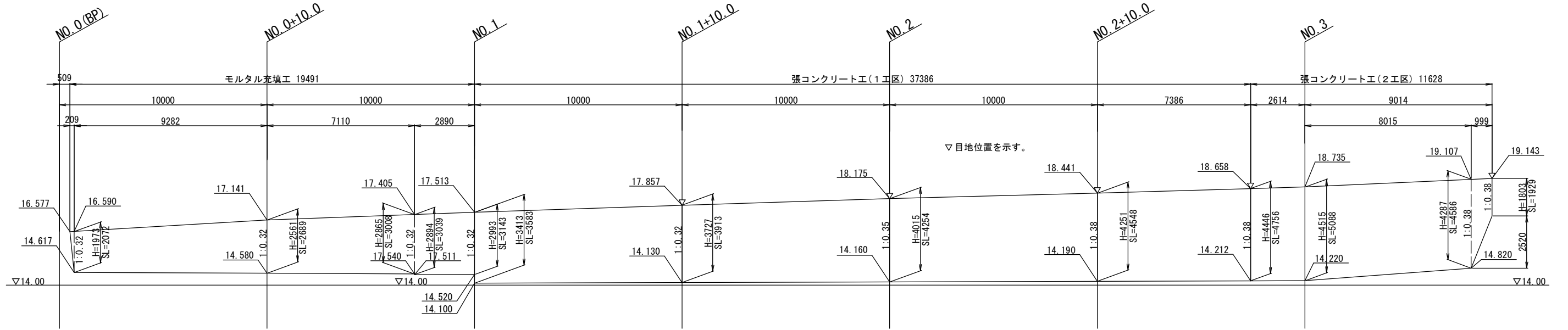
鉄筋表 (SD345) (L=1.0m当り)

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要	
W1	D13	1000	8	0.995	0.995	8.0	—	
W2	D13	600	8	0.995	0.597	4.8	—	
W3	D13	360	4	0.995	0.358	1.4]	
合計						16.5	kg	
鉄筋径別集計								
				D13	14.2	kg		
				D16	2.3	kg		
合計							16.5	kg

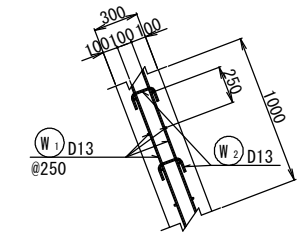
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	キャッピングビーム工詳細図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図示	図面番号	15/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

張コンクリート工構造図

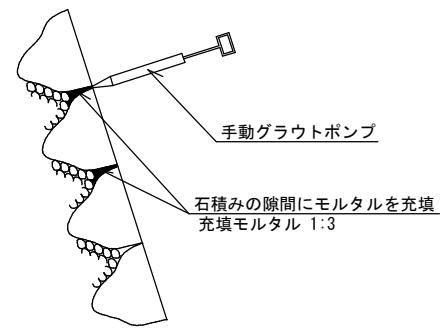
展開図 S=1:100



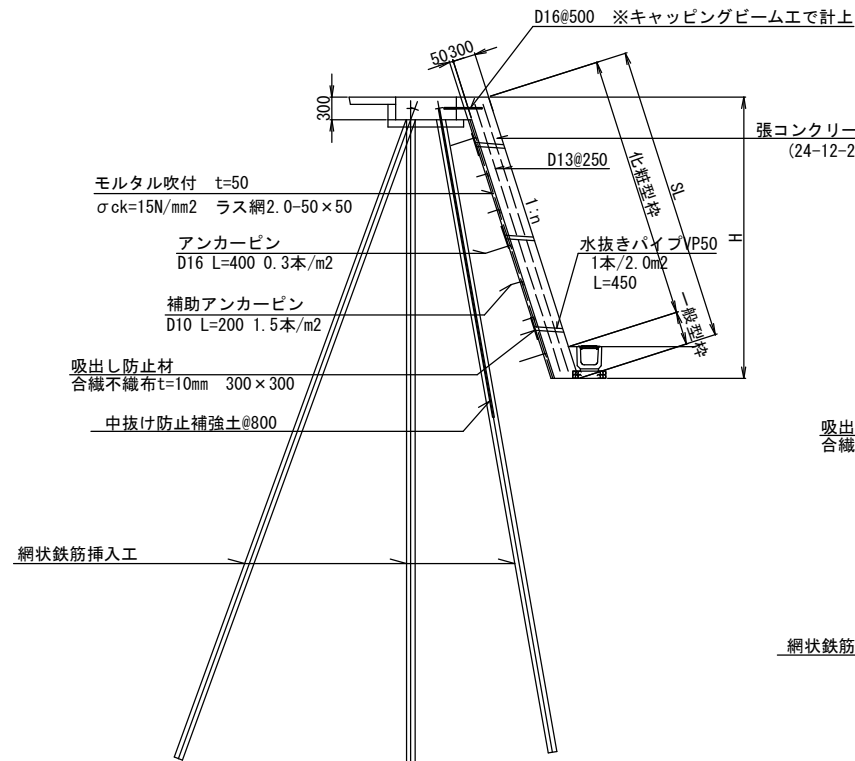
張コンクリート配筋断面図 S=1:25



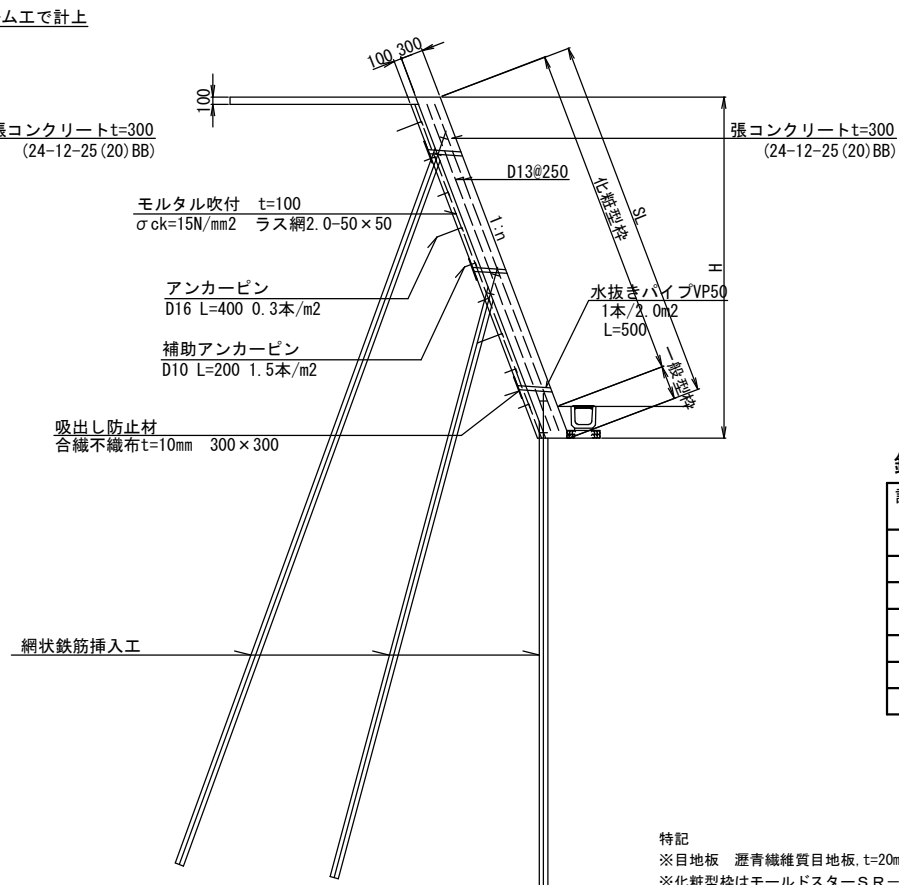
モルタル充填工施工図 S=1:10



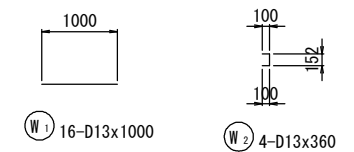
張コンクリート(1工区)断面図 S=1:50



張コンクリート(2工区)断面図 S=1:50



鉄筋加工図 S=1:50



鉄筋表 (SD345) L=1.0m² 当り

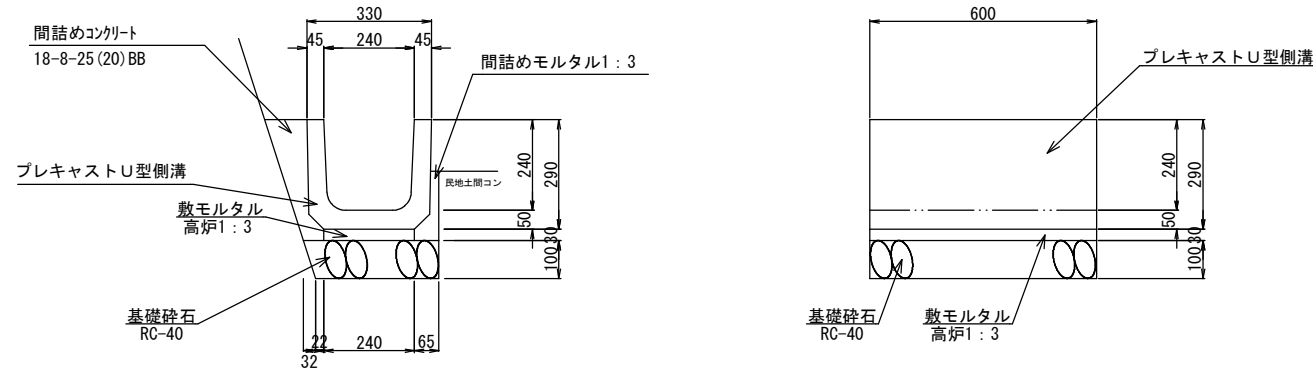
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
W1	D13	1000	16	0.995	0.995	15.9	—
W2	D13	360	4	0.995	0.358	1.4]
						合計	17.3 kg
鉄筋径別集計							
						D13	17.3 kg
						合計	17.3 kg

特記
※目地板 瀝青繊維質目地板、t=20mm
※化粧型枠はモールドスター-SR-O2同等品以上とする
※モルタル吹付は法面保護のために高さ方向で3分割施工を想定している。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	張コンクリート工構造図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図示	図面番号	16/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

プレキャストU型側溝構造図

プレキャストU型側溝A 240型



材料表 (プレキャストU型側溝A) (10.0m当り)

名称	規格	単位	数量	適用
U型側溝	PU-240	個	16.5	参考重量55Kg/本
敷モルタル	1:3、t=30	m ²	2.40	高炉
基礎碎石	t=100、RC-40	m ³	0.34	

材料表 (間詰めコンクリート) (10.0m当り)

名称	規格	単位	数量	適用
コンクリート	18-8-25 (20) BB	m ³	0.20	

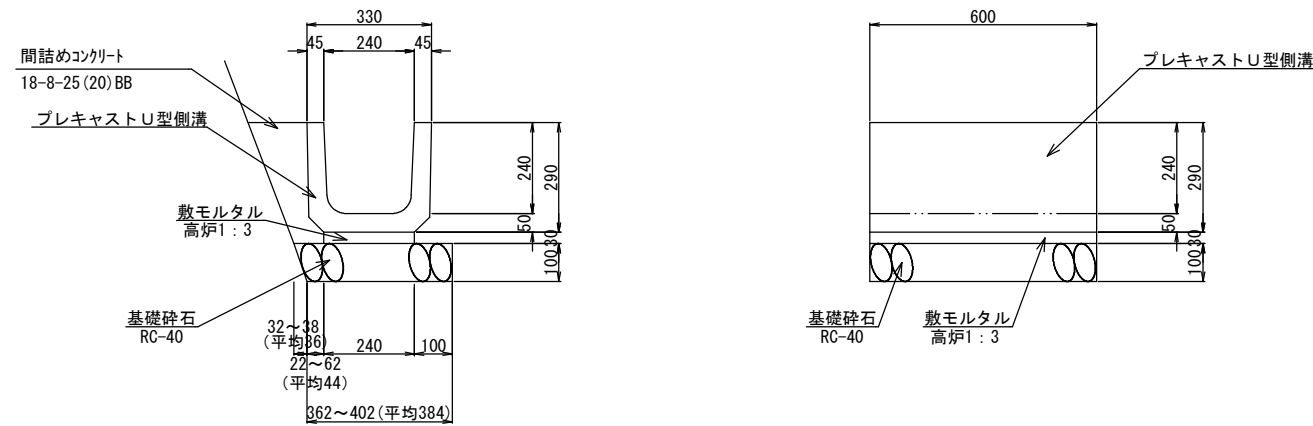
材料表 (間詰めモルタル) (10.0m当り)

名称	規格	単位	数量	適用
モルタル	1:3	m ³	0.10	高炉

モルタル材料 (1m3当り)

混合比	セメント	砂
1:3	530kg	1.05m ³

プレキャストU型側溝B 240型



材料表 (プレキャストU型側溝B) (10.0m当り)

材料	材料	単位	数量	適用
U型側溝	PU-240	個	16.5	参考重量55Kg/本
敷モルタル	1:3、t=30	m ²	2.40	高炉
基礎碎石	t=100、RC-40	m ³	0.40	

材料表 (間詰めコンクリート) (10.0m当り)

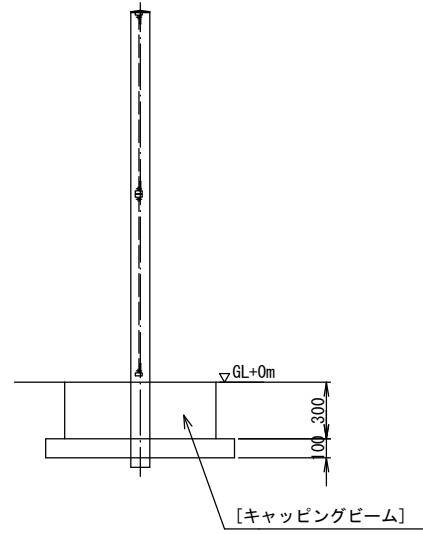
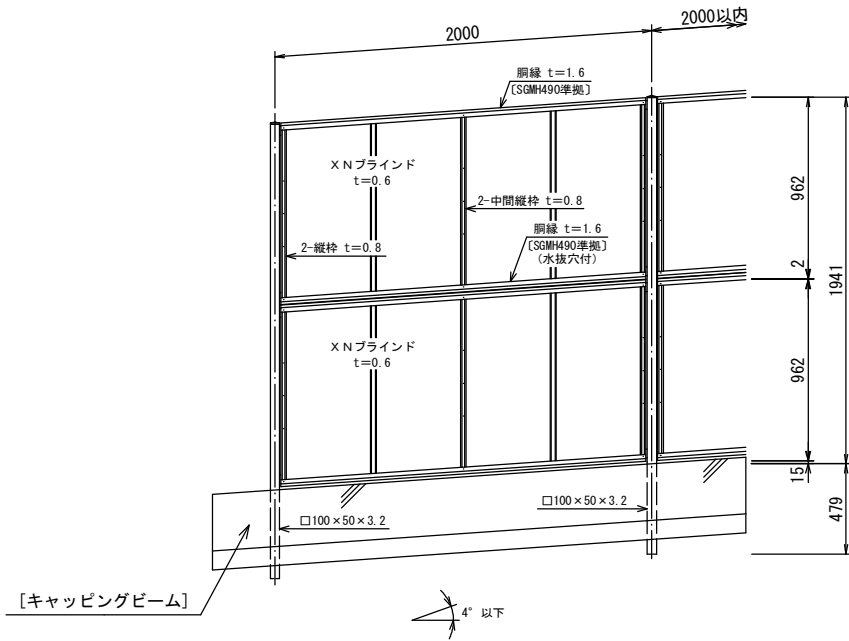
名称	規格	単位	数量	適用
コンクリート	18-8-25 (20) BB	m ³	0.30	

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	プレキャストU型側溝構造図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:10	図面番号	17/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

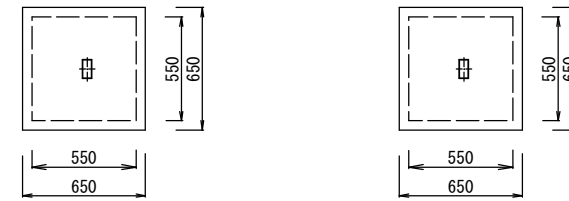
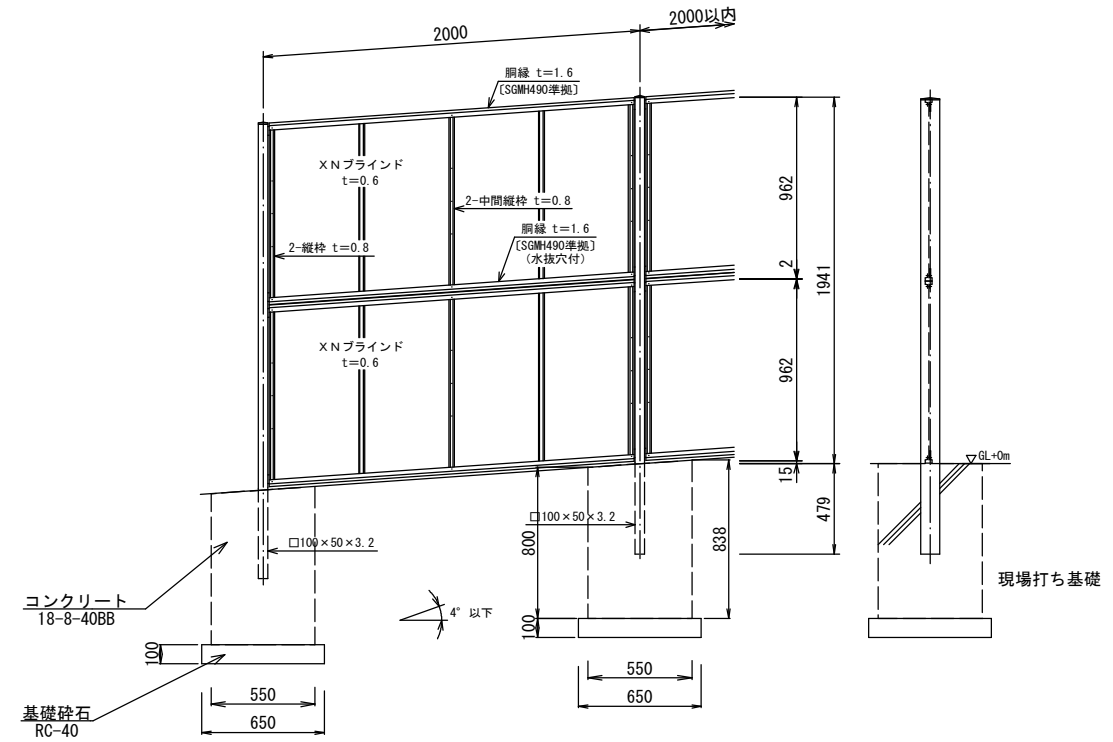
フェンス構造図(1)

(歩道部フェンス)

フェンス(A) S=1:20
目かくしフェンス AM-1940-SH



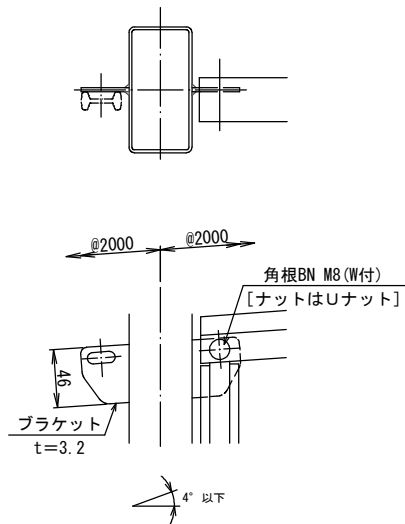
フェンス(B) S=1:20
目かくしフェンス AM-1940-SH



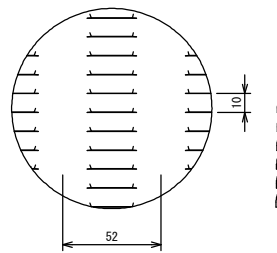
材料表(現場打ち基礎) (10基当り)

名称	規格	単位	数量	適用
コンクリート	18-8-40BB	m ³	2.5	
型枠	小型構造物	m ²	18.0	
基礎砕石	t=100、RC-40	m ²	4.2	

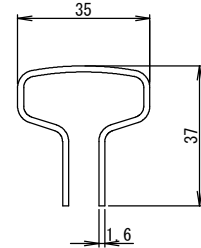
パネル取付図 S=1:3



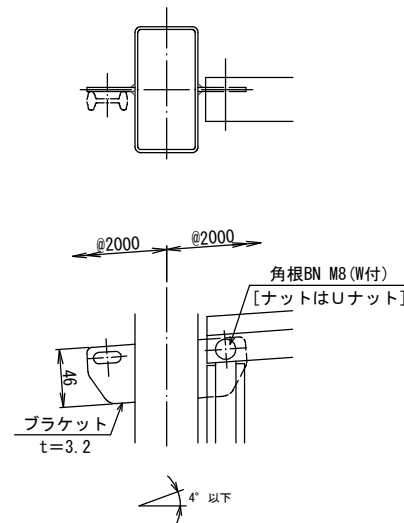
XNブラインド S=1:2
t=0.6



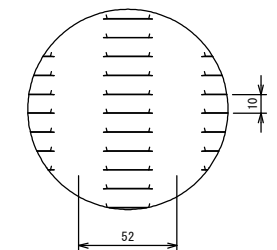
胴縁断面図 S=1:1



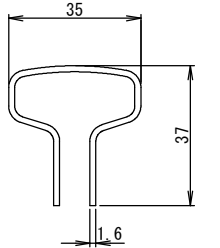
パネル取付図 S=1:3



XNブラインド S=1:2
t=0.6



胴縁断面図 S=1:1



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・32m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考

- 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、袖付柱及び主柱取付バンド、Dメッシュは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
- XNブラインドの目の向きは打合せに依り決定とする。
- 本柵施工に際して、内・外両側作業可能なことを条件とする。

- 袖部にはめっきの為、湯抜き穴を適所(見苦しくない位置)に設けるものとする。
- スパン寸法及び勾配角度は現地実測に依り決定とする。
- フェンスは、朝日スチール工業株式会社の目隠し遮音フェンス同等品以上とする。

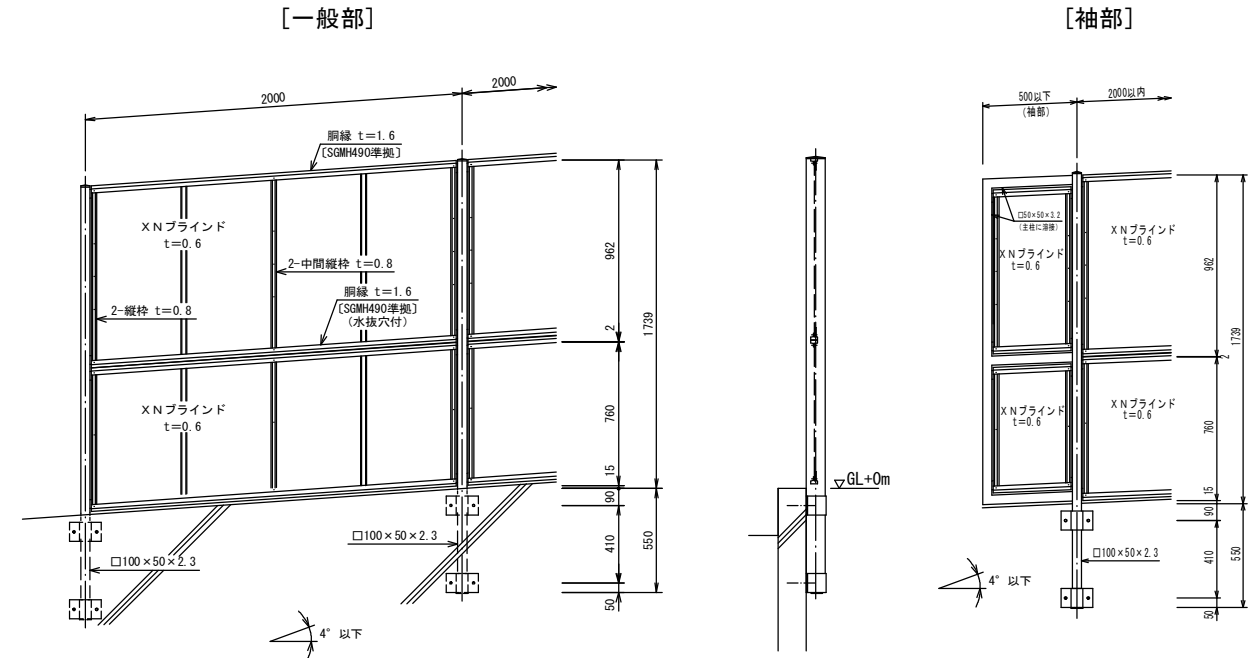
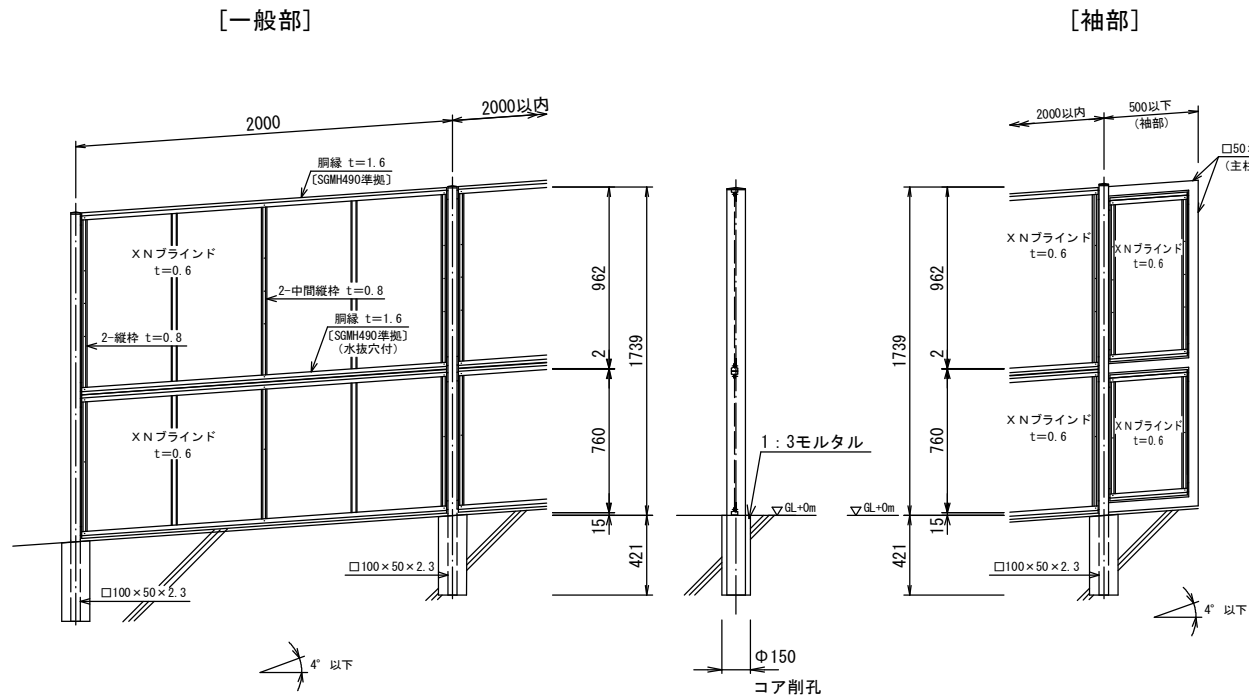
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	18/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

フェンス構造図(2)

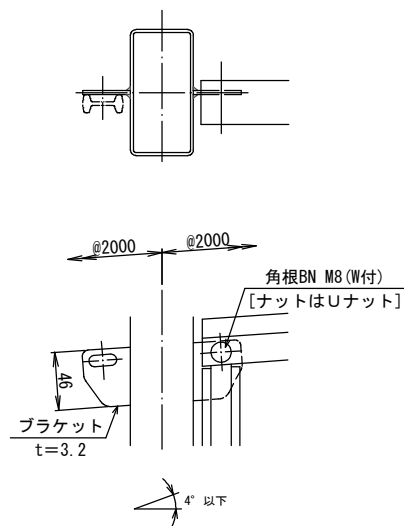
(歩道部フェンス)

フェンス(C) S=1:20
目かくしフェンス AM-1740-SH

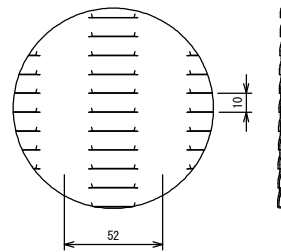
フェンス(D) S=1:20
目かくしフェンス H1740 (側壁取付)



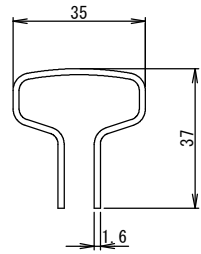
パネル取付図 S=1:3



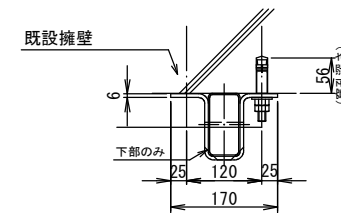
XNブラインド S=1:2
t=0.6



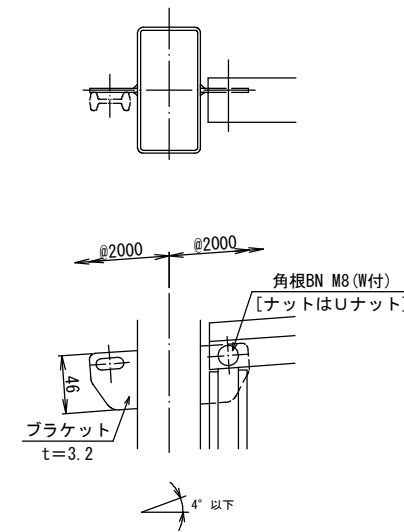
胴縁断面図 S=1:1



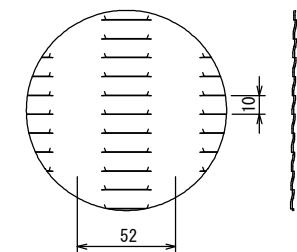
主柱取付図 S=1:6



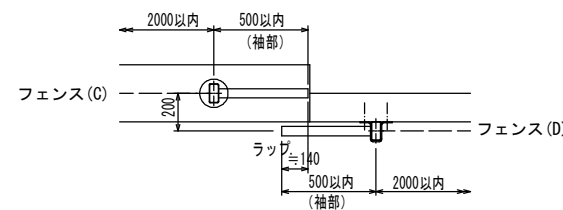
パネル取付図 S=1:3



XNブラインド S=1:2
t=0.6



ラップ部分参考平面図 S=1:20



設計条件

設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・32m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考

- 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、袖付柱及び主柱取付バンド、Dメッシュは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
- XNブラインドの目の向きは打合せに依り決定とする。
- 本柵施工に際して、内・外両側作業可能なことを条件とする。
- 袖部にはめっきの為、湯抜き穴を適所(見苦しくない位置)に設けるものとする。
- スパン寸法及び勾配角度は現地実測に依り決定とする。
- フェンスは、朝日スチール工業株式会社の目隠し遮音フェンス同等品以上とする。

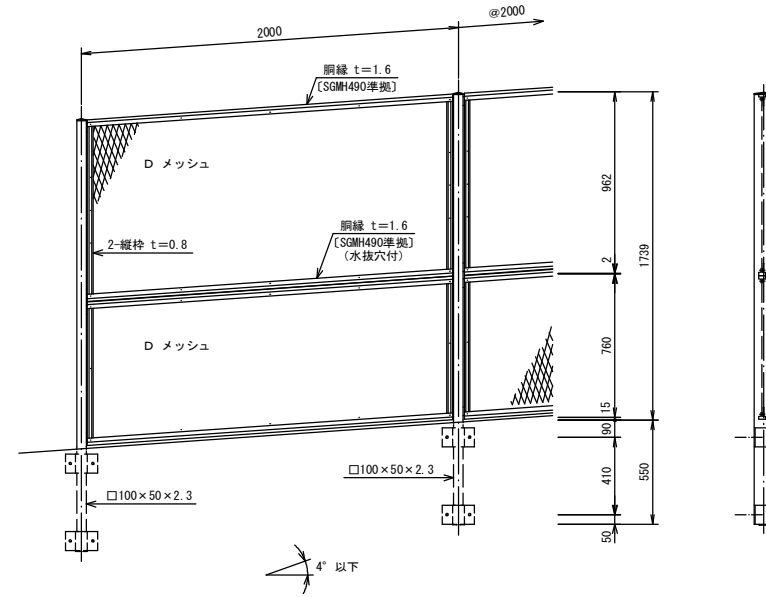
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	19/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

フェンス構造図(3)

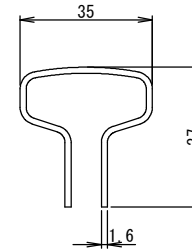
(歩道部フェンス)

フェンス(E) S=1:20

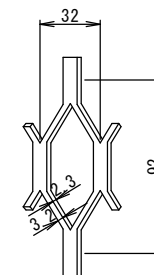
ENフェンス H1740 (側壁取付)



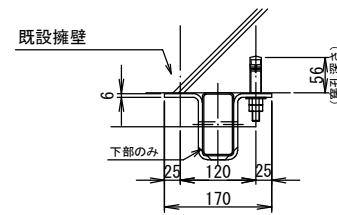
胴縁断面図 S=1:1



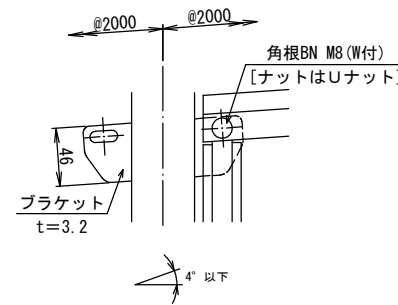
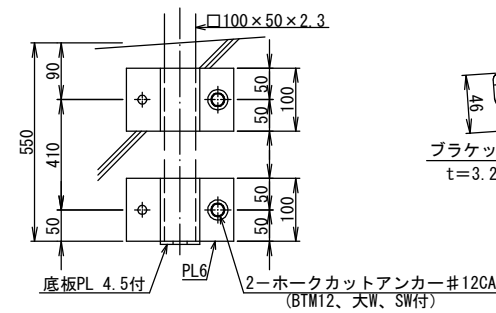
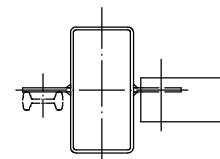
Dメッシュ S=1:2
芯径を示す



主柱取付図 S=1:6



パネル取付図 S=1:3



備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、袖付柱及び主柱取付バンド、Dメッシュは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
2. 本欄施工に際して、内・外両側作業可能なことを条件とする。
3. 袖部にはめっきの為、湯抜き穴を適所(見苦しくない位置)に設けるものとする。
4. スパン寸法及び勾配角度は現地実測に依り決定とする。
5. フェンスは、朝日スチール工業株式会社のエバーニューフェンス同等品以上とする。

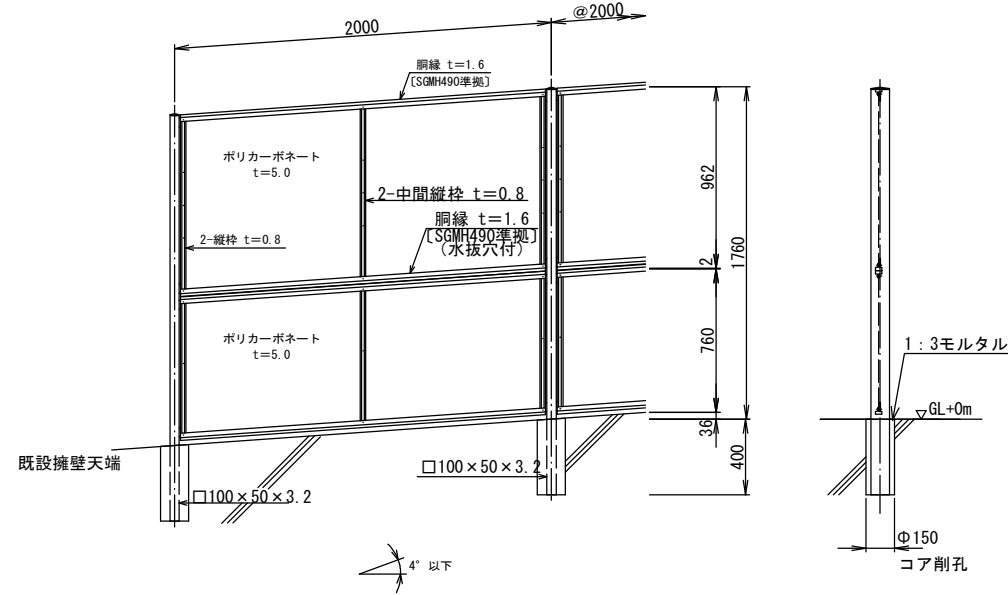
設計条件

設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
 基準風速・・・32m/sec
 地表面粗度区分・・・Ⅲ

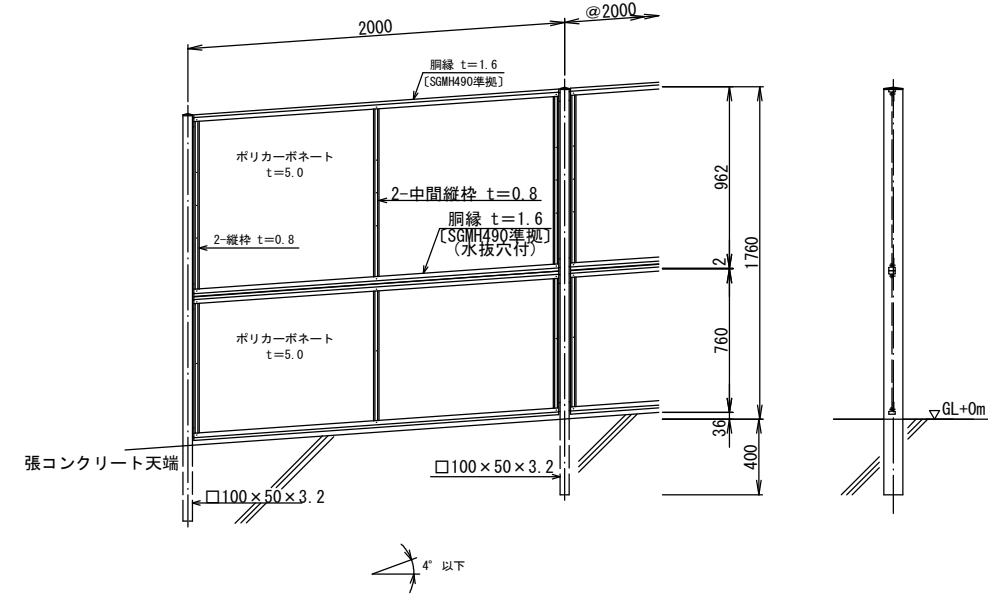
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	20/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

フェンス構造図(4) (石積部フェンス)

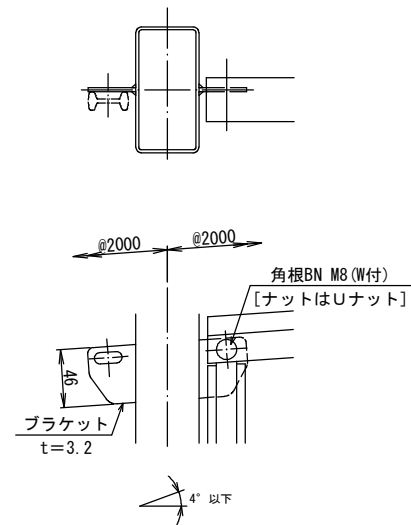
フェンス(F) S=1:20



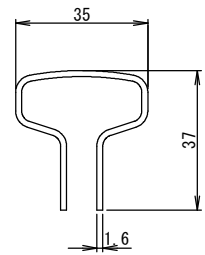
フェンス(G) S=1:20



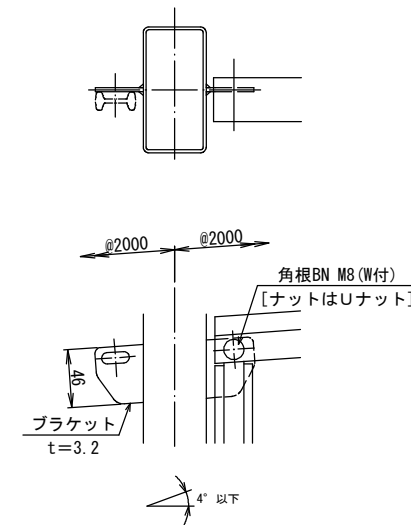
パネル取付図 S=1:3



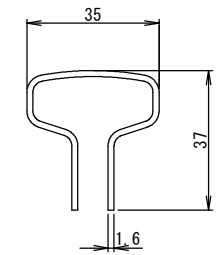
胴縁断面図 S=1:1



パネル取付図 S=1:3



胴縁断面図 S=1:1



設計条件
 設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
 基準風速・・・32m/sec
 地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考

1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 外装はポリカーボネートを除く他は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
3. ポリカーボネートの品種・品番は打合せに依り決定とする。色はブラウンスモークとする。
4. 本欄施工に際して、内・外両側作業可能なことを条件とする。
5. スパン寸法及び勾配角度は現地実測に依り決定とする。
6. フェンスは、朝日スチール工業株式会社の目隠しフェンス同等品以上とする。
7. ポリカーボネートプレートはタキロンシーアイプラス株式会社製(PCSP K6930 両面耐候)同等品以上とする。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(4)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	21/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

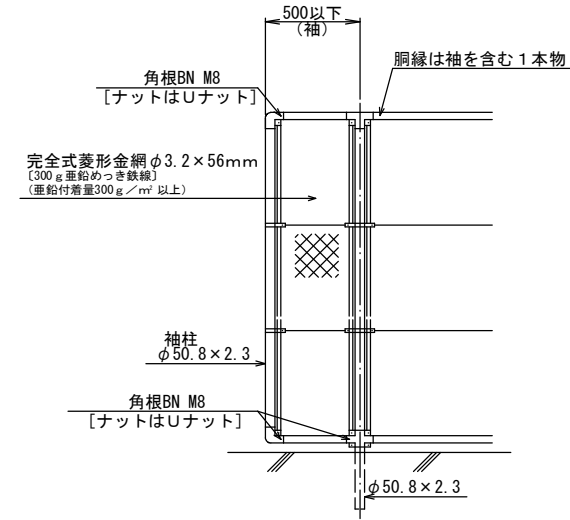
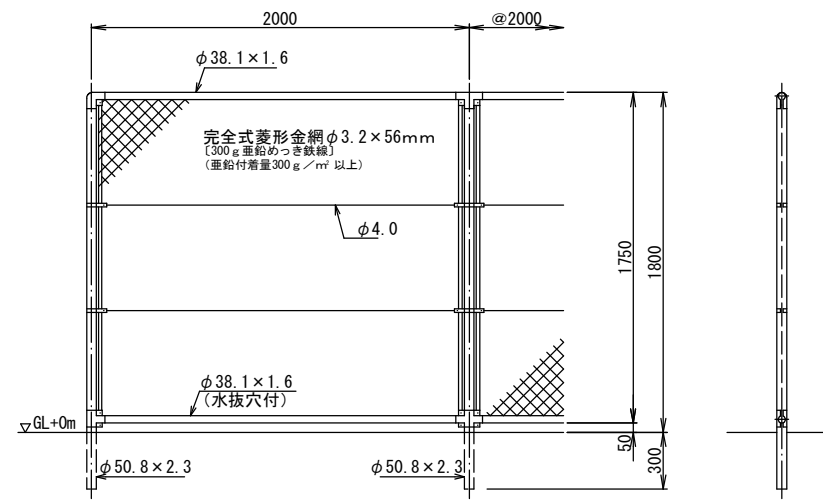
フェンス構造図(5)

(石積部フェンス)

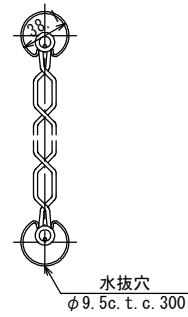
フェンス(H) S=1:20

PC-A1800

水平～勾配4°以下の場合



胴縁に金網取付断面図 S=1:3



設計条件
 設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に
 基づく風圧力に依る。
 基準風速・・・32m/sec
 地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考

1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
3. 本柵施工に際して、内・外両側作業可能なことを条件とする。
4. スパン寸法及び勾配角度は現地実測に依り決定とする。
5. フェンスは、朝日スチール工業株式会社のPCフェンス同等品以上とする。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(5)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	22/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

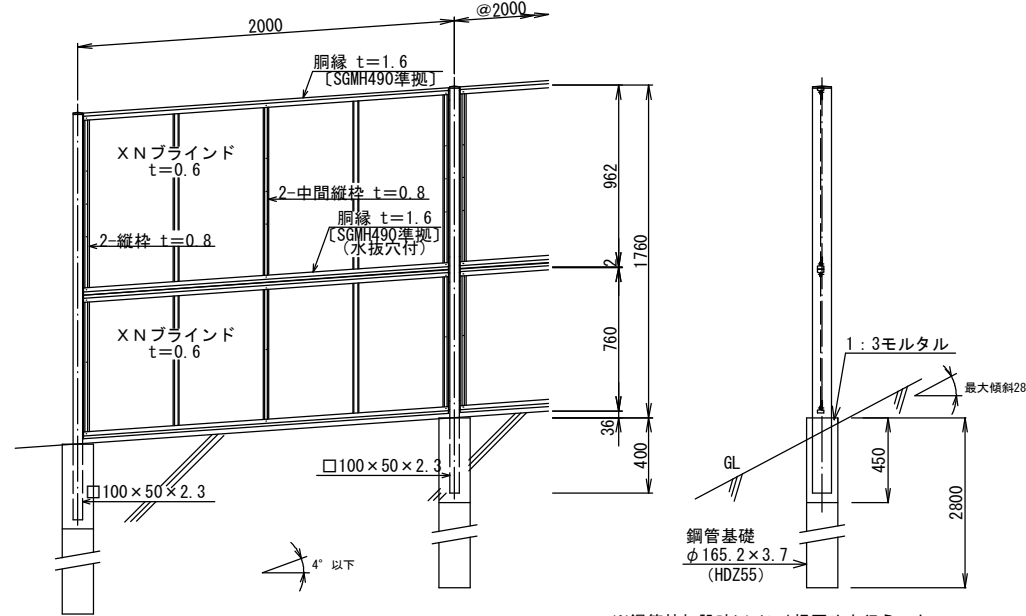
フェンス構造図(6)

(東側法面フェンス)

フェンス (I) S=1:20
目かくしフェンス AM-1760-SH

フェンス (J) S=1:20
ENフェンス H1760

[一般部]

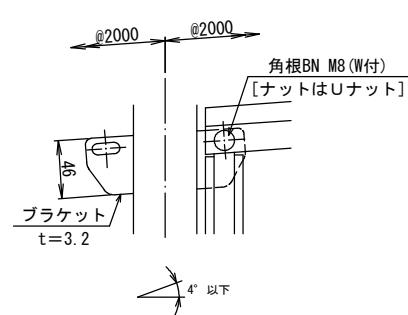
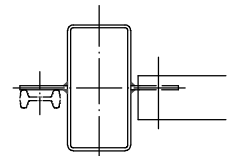


※鋼管杭打設時セメント助根固めを行うこと。
なお、セメント量は0.081m³/本を想定している。

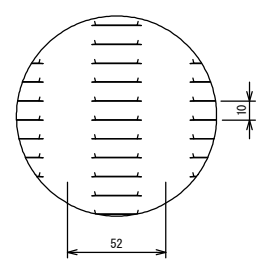
セメント助材料 (1m³当り)

水	セメント
660kg	1100kg

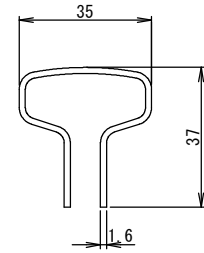
パネル取付図 S=1:3



XNブラインド S=1:2
t=0.6



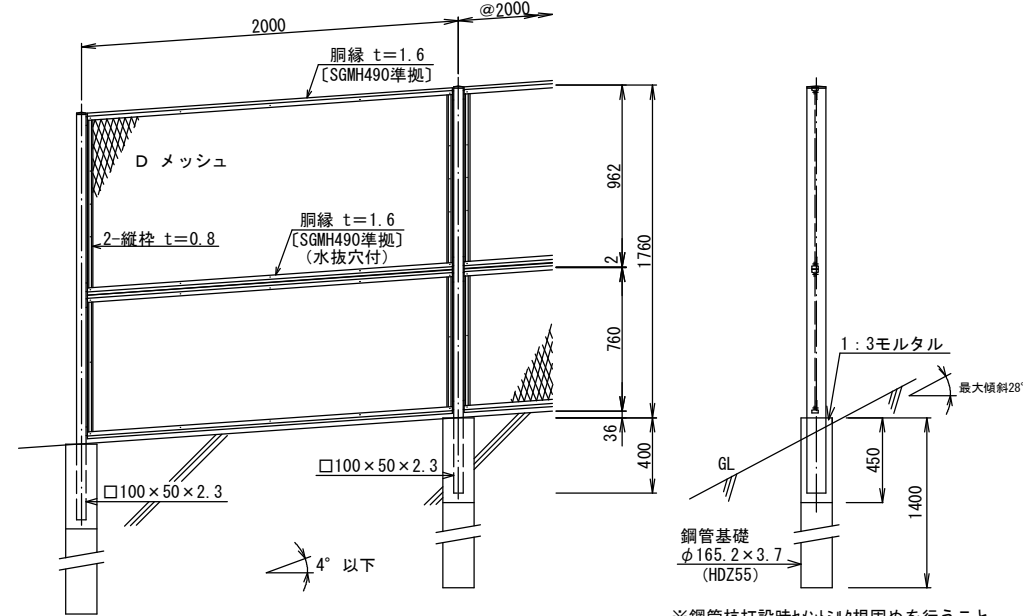
胴縁断面図 S=1:1



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・32m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ

- 備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、袖付柱及び主柱取付パネル、Dメッシュは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。塗装色はダークブラウン(10YR2.0/1.0)とする。
 2. XNブラインドの目の向きは打合せに依り決定とする。

[一般部]

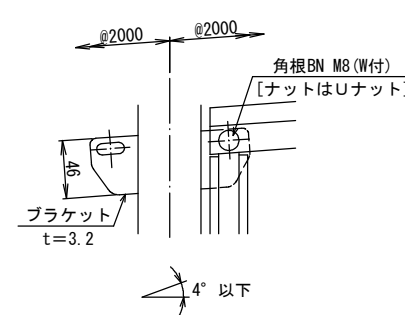
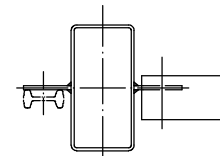


※鋼管杭打設時セメント助根固めを行うこと。
なお、セメント量は0.033m³/本を想定している。

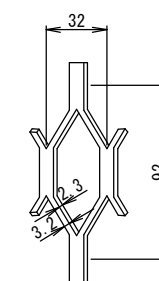
セメント助材料 (1m³当り)

水	セメント
660kg	1100kg

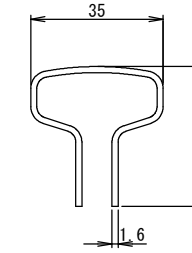
パネル取付図 S=1:3



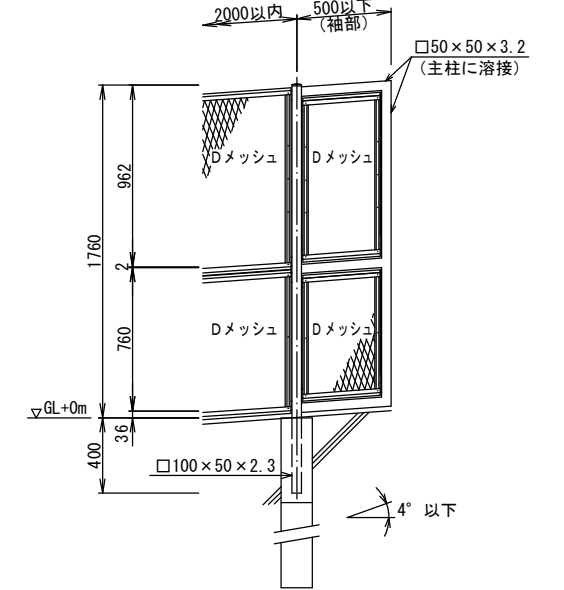
Dメッシュ S=1:2
芯径を示す



胴縁断面図 S=1:1



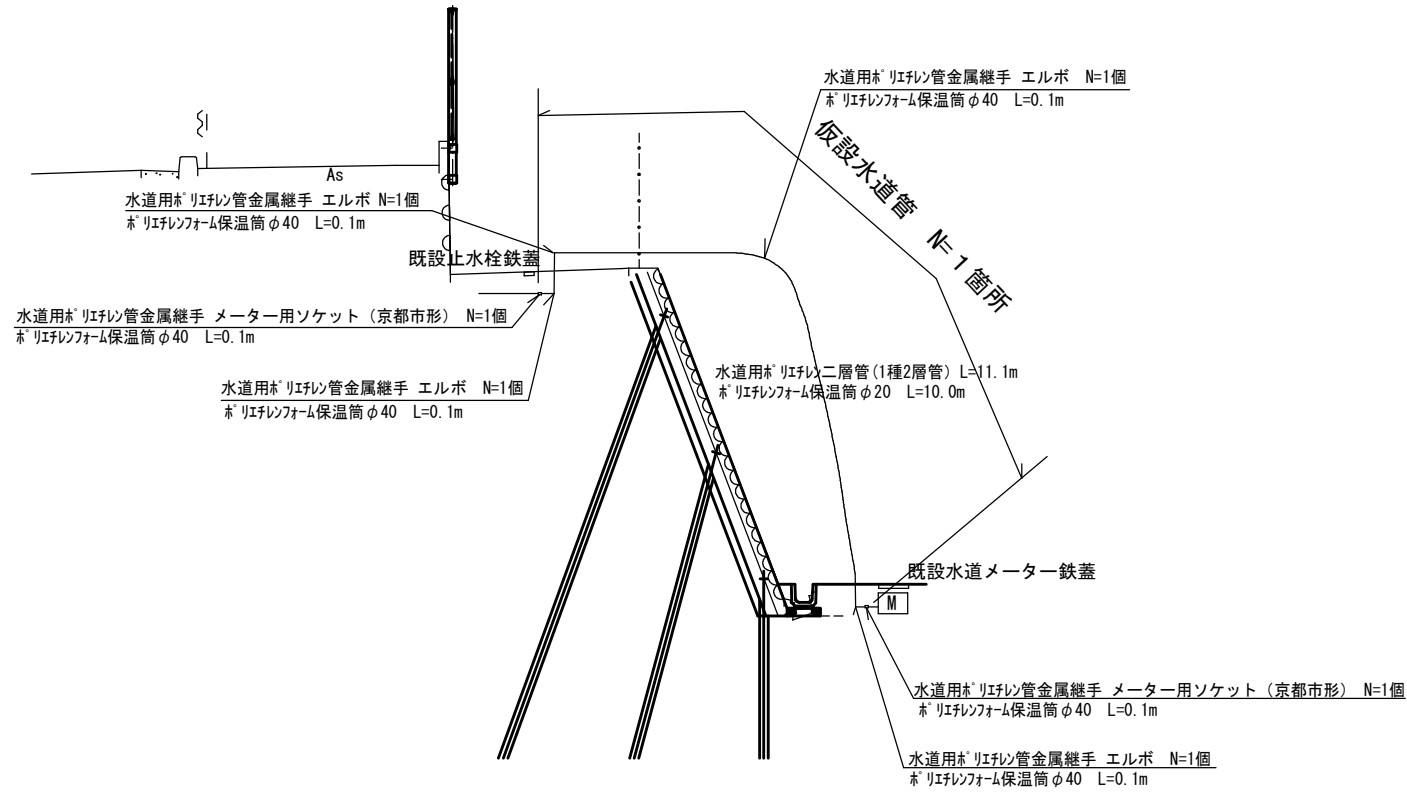
[袖部]



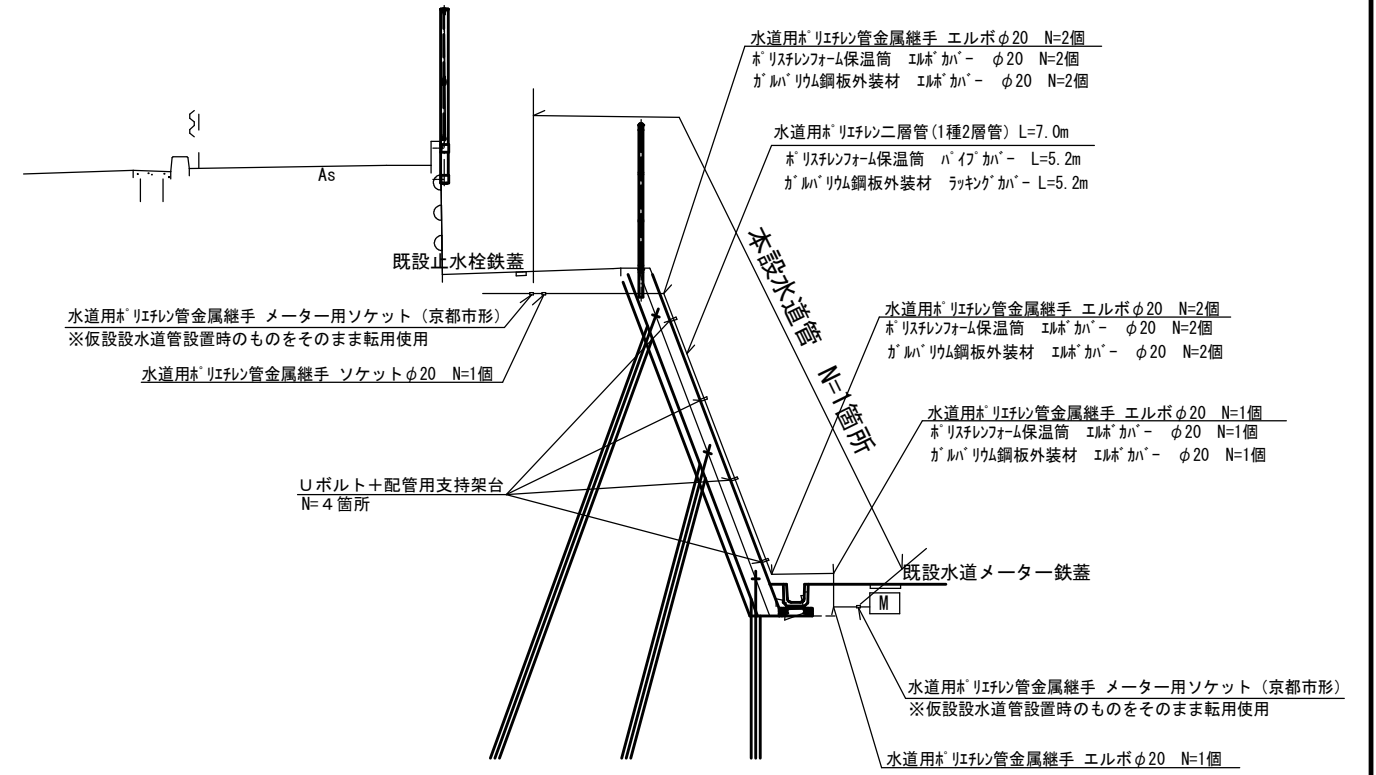
工事名	(総合評価) 擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	フェンス構造図(6)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	23/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

水道管構造図

仮設水道管断面図
(参考図)
NO. 2+18.7付近



本設水道管断面図
NO. 2+18.7付近



材料表 (仮設水道管)

(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	適用
水道用ポリエチレン二層管 (1種2層管)	φ20mm	m	11.1	JIS K 6762
水道用ポリエチレン管金属継手 エルボ	φ20mm	個	4	JWWA B 116
水道用ポリエチレン管金属継手 メーター用ソケット (京都市形)	φ20mm	個	2	※本設水道管設置時そのまま転用
ポリエチレンフォーム保温筒	φ20mm	m	10.0	JIS A 9511 ZPO-20同等品
ポリエチレンフォーム保温筒	φ40mm	m	0.6	JIS A 9511 ZPO-40同等品 (継手部で使用)

材料表 (本設水道管)

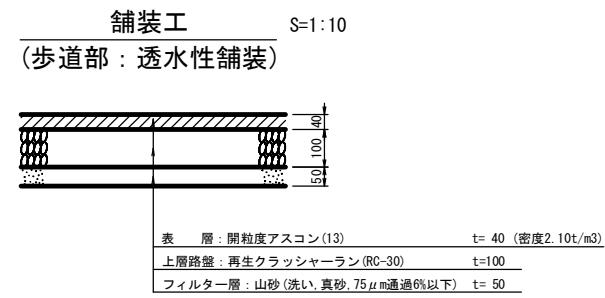
(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	適用
水道用ポリエチレン二層管 (1種2層管)	φ20mm	m	7.0	JIS K 6762
水道用ポリエチレン管金属継手 エルボ	φ20mm	個	6	JWWA B 116
水道用ポリエチレン管金属継手 ソケット	φ20mm	個	1	JWWA B 116
ポリエチレンフォーム保温筒 ハイブカバー	厚さ20mm φ20mm	m	5.2	FP-CL同等品
ポリエチレンフォーム保温筒 エルボカバー	厚さ20mm φ20mm	個	5	FP-E同等品
ガルバリウム鋼板外装材 ラッキングカバー	保温厚20mm φ20mm	m	5.2	
ガルバリウム鋼板外装材 エルボカバー	φ20mm	個	5	
配管用支持架台	L100×H100×W50	個	4	ステンレスマン (A12171) 同等品
Uバンド	径φ20 A SUS	個	4	ステンバンド (A10618) 同等品

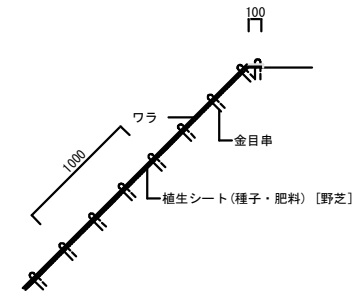
※水道用ポリエチレン管金属継手 メーター用ソケット (京都市形) 2個は仮設水道管設置時設置したものをそのまま使用し、その他上記部品は新品とする。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	水道管構造図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:50	図面番号	24/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

舗装工・張芝工構造図



張芝 S=1:30



製品規格

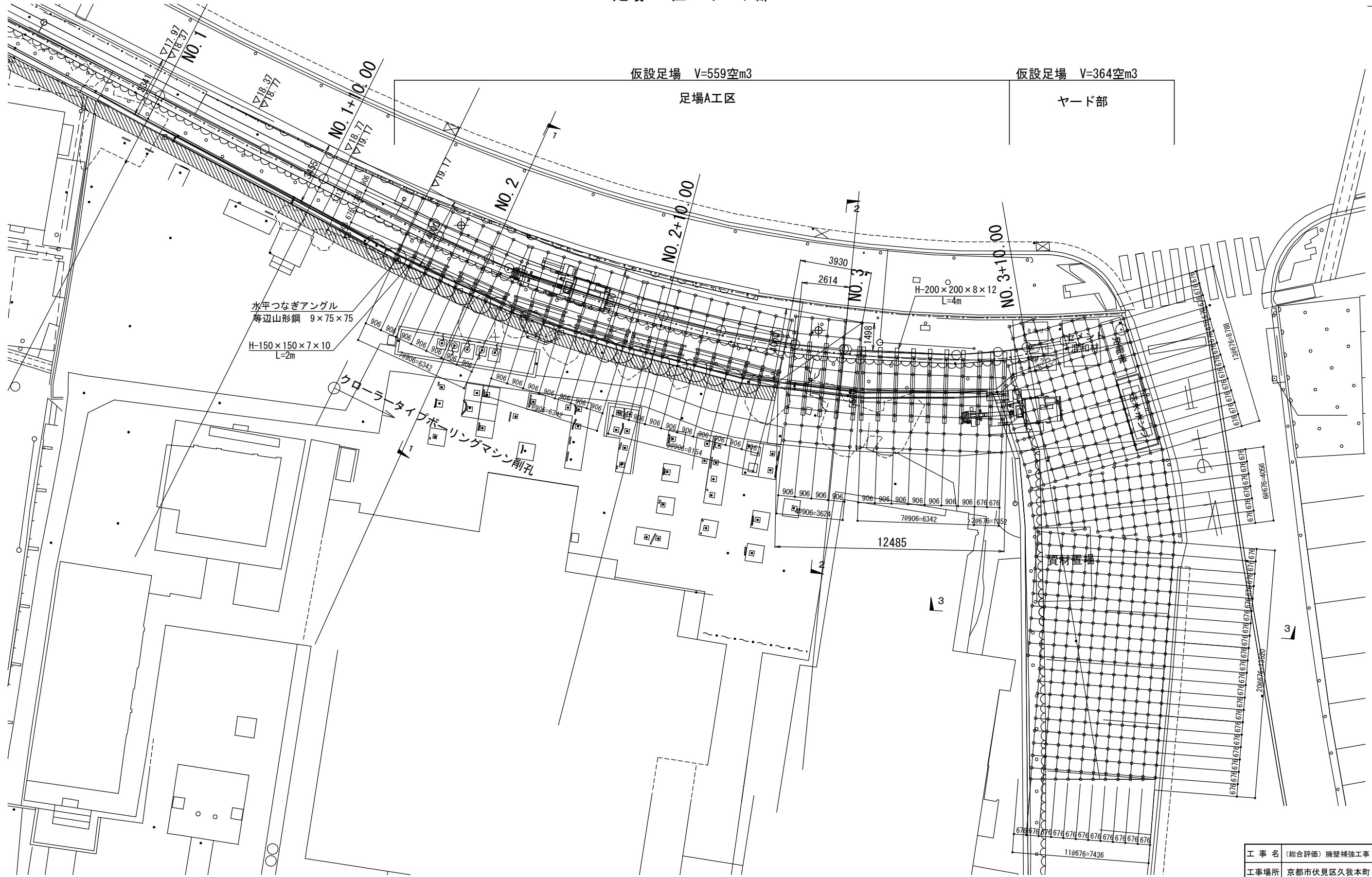
品名	寸法	仕様
ロケットフラ同等品	巾1.0m	フラ付き 金目串付き

※野芝とすること

工事名	(総合評価)擁壁補強工事(伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	舗装工・張芝工構造図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図示	図面番号	25/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

仮設足場平面図 (参考図)

足場A工区・ヤード部



工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	仮設足場平面図 (参考図)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:100	図面番号	26/29

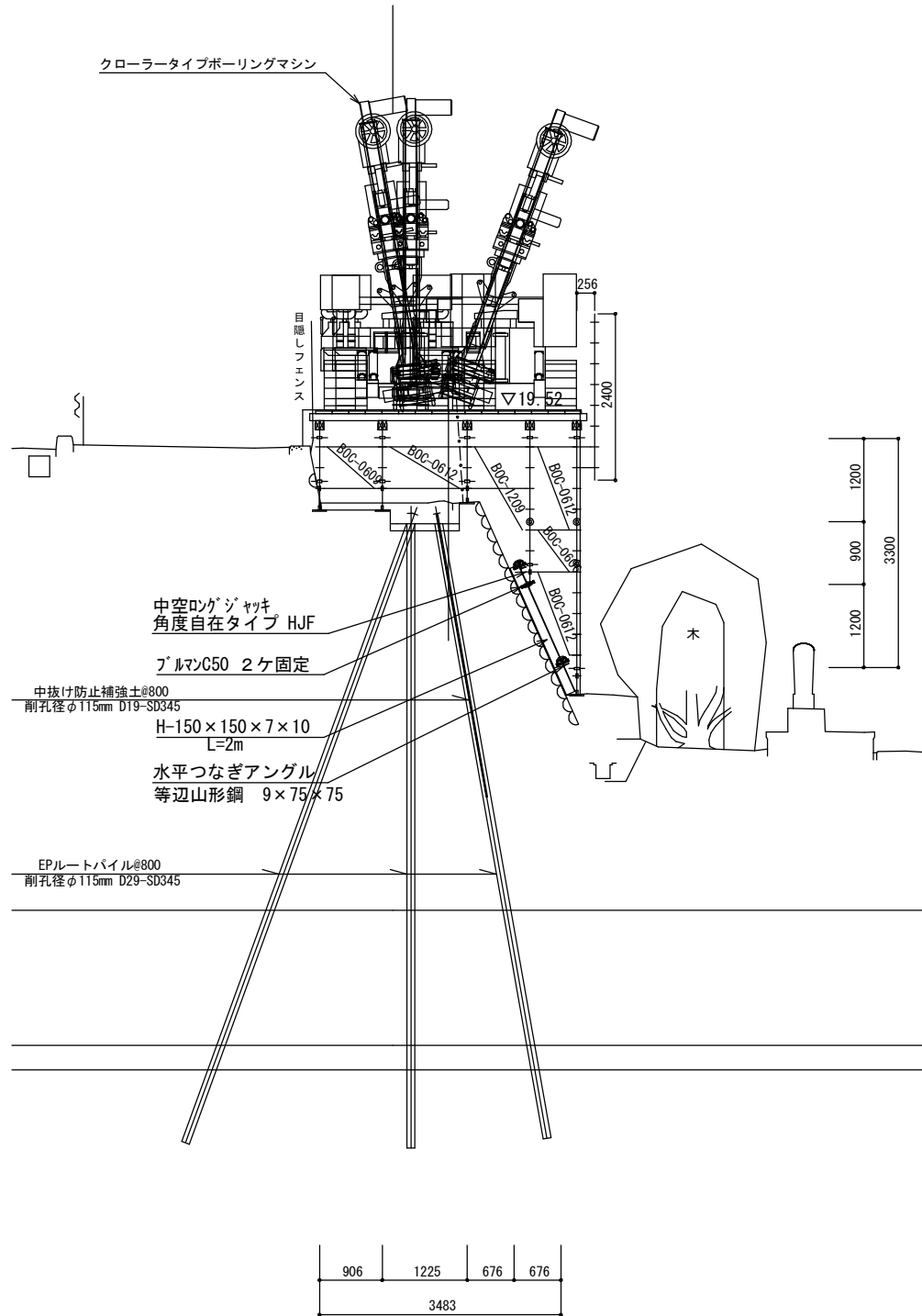
注記：足場A工区及びヤード部の仮設足場は、日綜産業株式会社『法面作業構台 マルチアンクル工法』同等品以上とする。

京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所

仮設足場断面図 (1) (参考図)

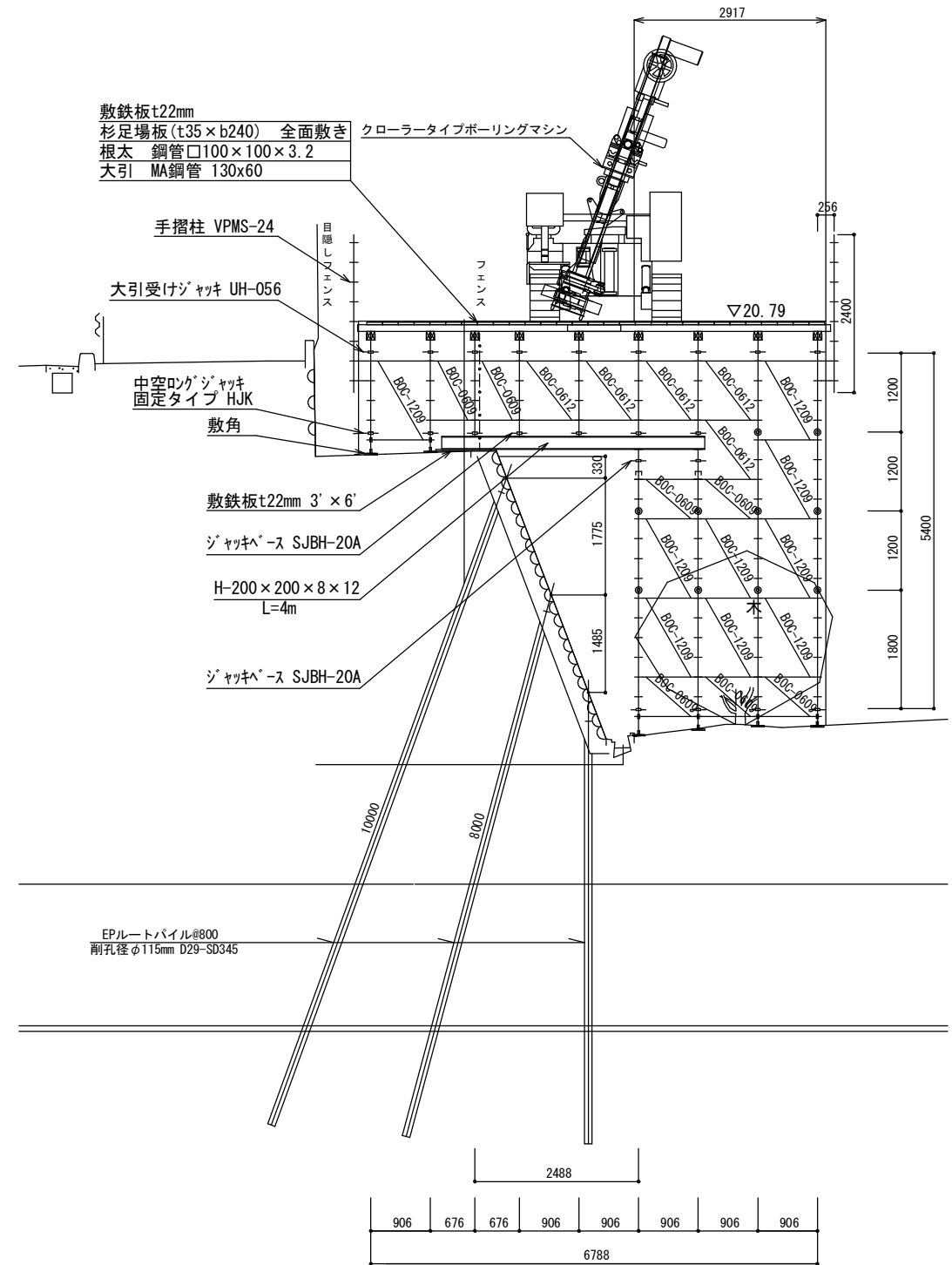
1 - 1

NO. 2
GH=18.19



2 - 2

NO. 3
GH=18.81

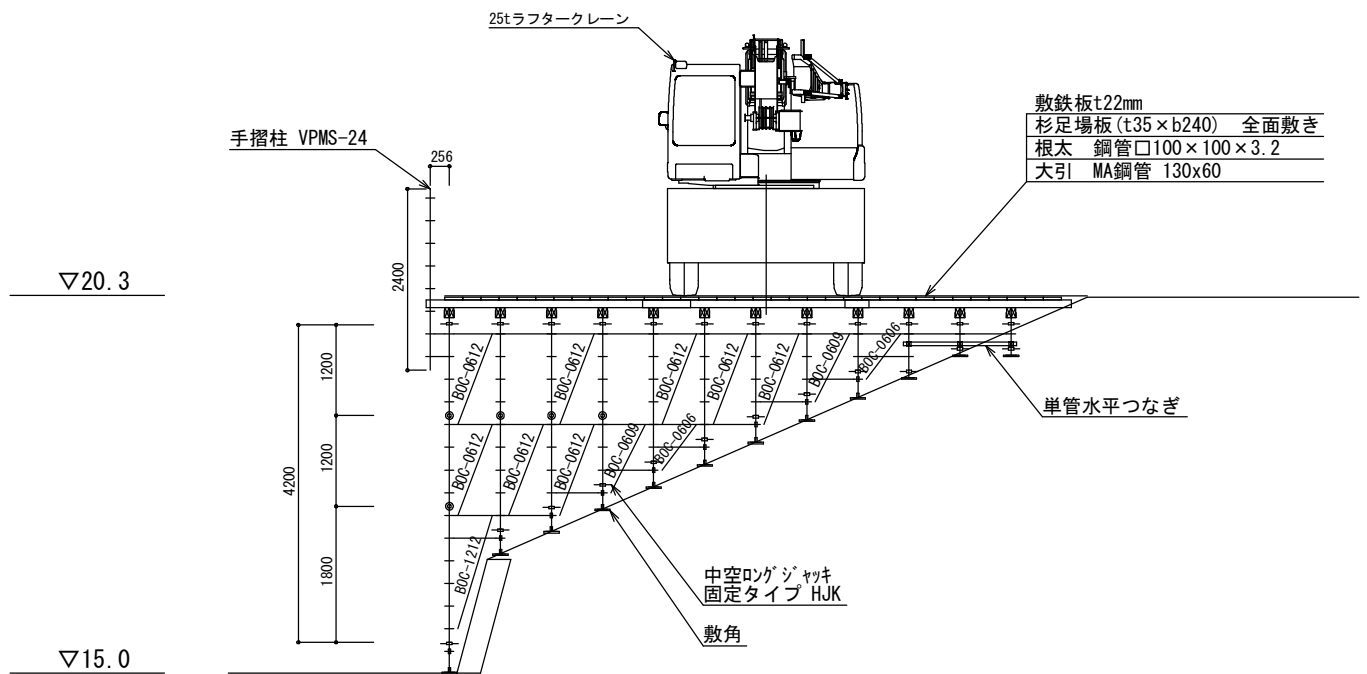


工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	仮設足場断面図 (1) (参考図)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:50	図面番号	27/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			

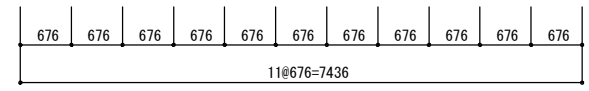
注記：足場A工区及びヤード部の仮設足場は、日綜産業株式会社の『法面作業構台 マルチアングル工法』同等品以上とする。

仮設足場断面図 (2) (参考図)

3 - 3 S=1/50

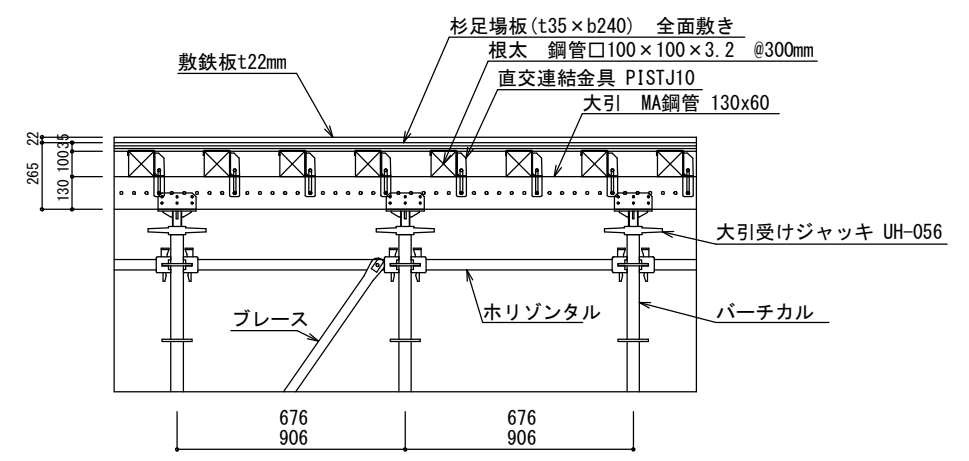


DL=10.00

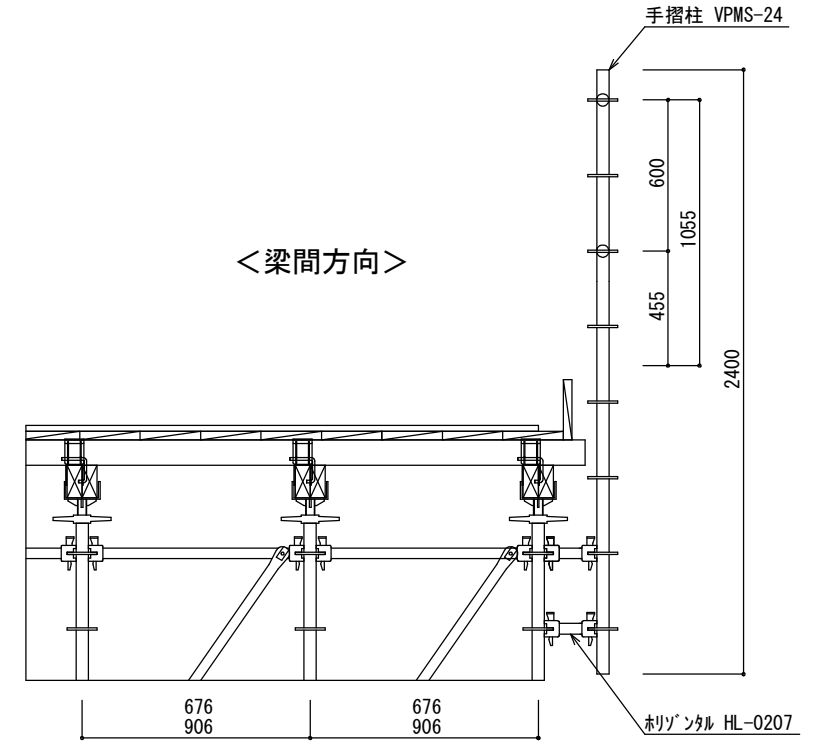


構台上部詳細図 S=1/15

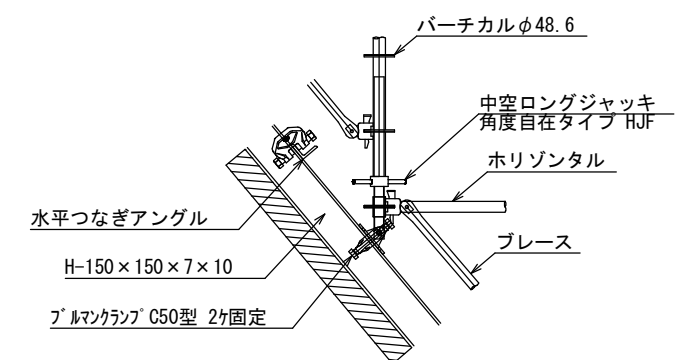
<桁行方向>



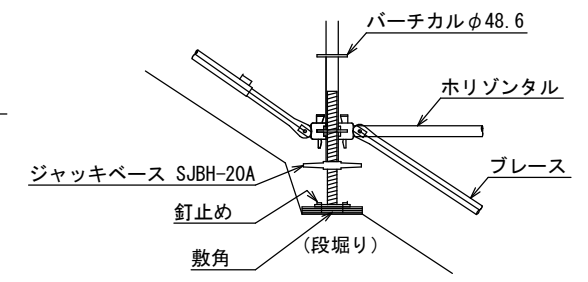
<梁間方向>



自在ジャッキ プルマン固定部 詳細図 S=1/15



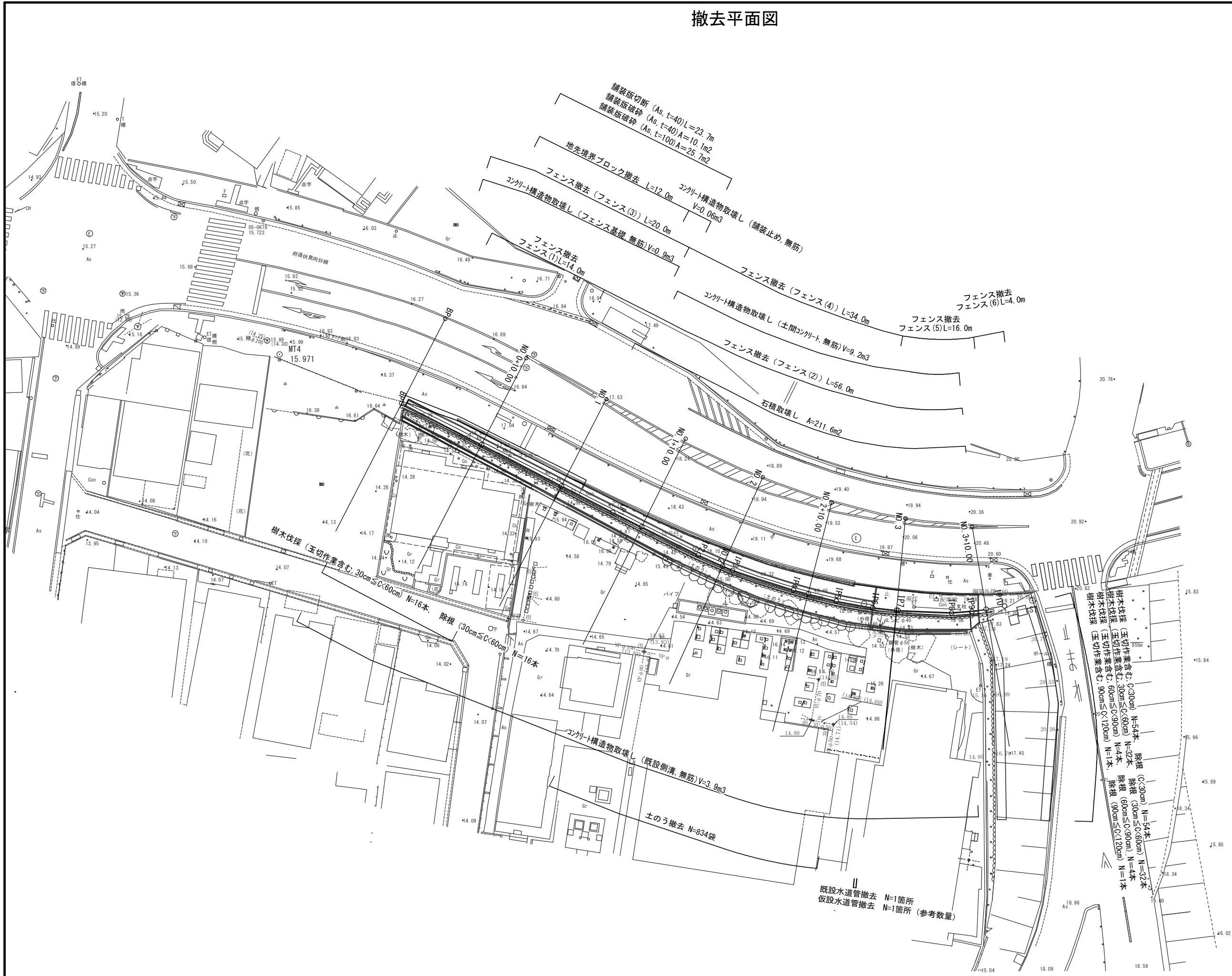
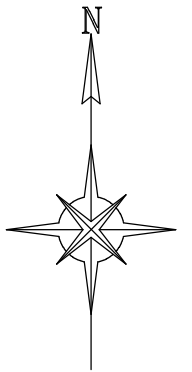
支柱脚部詳細図 S=1/15



工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	仮設足場断面図 (2) (参考図)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図示	図面番号	28/29

注記：足場A工区及びヤード部の仮設足場は、日綜産業株式会社の『法面作業構台 マルチアングル工法』同等品以上とする。京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所

撤去平面図



※土のう撤去について、大型土のう袋の中に小型土のうが入っているので土のう撤去で計上している。

工事名	(総合評価) 擁壁補強工事 (伏見向日線)		
工事場所	京都市伏見区久我本町 地内		
図面名	撤去平面図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	1:200	図面番号	29/29
京都市建設局土木管理部伏見土木みどり事務所			